

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（高井戸）

開催日時：令和5年7月1日 午後2時～午後4時30分

場所：高井戸地域区民センター 第1・2集会室

参加者（区民）：17名

	意見
学識経験者情報提供後の感想・気づき	
1	沢山納税しているのに、お金がないのはなぜ？施設にワクワクを持たせる方法として、現在あるものを有効活用する視点はないのか。オルタナティブの視点をもって施設の有効活用をして欲しい。全体でのマネジメントの視点を大事に再編に取り組んで欲しい。既存施設でも利用したいと思える施設はある。
2	まちを俯瞰してみることも大事だが、歩いて感じる課題も大事だ。まちづくりにはビジョンが大事で、トップダウン型とボトムアップ型の両方が必要。各施設が持つ機能を生かすには、強引な複合化は良くない。
3	講談には住民参加というキーワードが無かったことが気になった。富山市の複合化の事例は、本当に税金の節約になっているのか。高齢者は図書館に集まることで会話が生まれコミュニケーションの場になっている。杉並区にはゆうゆう館や児童館があって、それらが点在していることはコミュニティの形成にメリットがある。
4	児童館の良さは子どもが自分でいつでも行けることにあった。現在は学校の空き教室にいらっているが、校庭の利用は思ったようには使えていない。説明の中にあった「若者にバトンを渡すイメージ」が実現出来ていないと感じる。子どもの存在を区全体でもっと大切にしたい。
5	富山市は、移住も含めてコンパクトシティを進めているが、市民の声が聞いているかは疑問を感じている。個別施設の機能については、じっくり考えてみたい。
6	これからの未来に向けてのビジョンということで理解した。大学の先生の言う通りだと思う。ゆうゆう館もコミュニティふらっとになっていくが、ソフト面が見えてこないのが気になる。施設管理やマネジメントと言っても、その仕組みや理念が大事だと思う。
7	「少年世代へバトンを渡していく」という表現には違和感がある。一人暮らしの老人世代の居場所についても目を向けてほしい。 施設マネジメントはビジネスの手法を取り入れるということだが、公共施設というのは「奉仕の精神」で運営しなくてはいけない場面もあると思う。
8	経営・マネジメントという視点は無視できないと思う。 一方で、児童館の掲げる「健全育成」や「子どもたちがのびのび育つ」といった理念の下で進めてきたこの40～50年の成果は、ゼロになったように感じる。 現行の児童館の機能は、子ども・子育てプラザでは継承できていない。
9	「公共施設マネジメント」という観点が求められることは理解したが、注意すべきなのは「大人の都合」や「効率」を重視することが、子どもにどんな影響を与えるかである。 区として、子ども達にどんな成長をしてどんな活躍をしてほしいという理念はあるのか。 子どもたちは児童館がなくなるとなっても声をあげられない。 児童館は歳入もなくお金にならないので、効率という観点で測るべきではない。
10	「公共施設マネジメント」という言葉の意味がわからなかった。
11	マンション等は長期修繕計画があるのが一般的だが、公共施設にはそれがないことに驚いた。建物を長期的に使っていくためには定期的な診断や点検が大事。

12	本庄市の「市民交流スペースにつき学生の利用禁止」は、学生が勉強で独占的に利用することをやめて欲しかったのではないか。表現を見直す必要があったのではないか。
13	経営マインドがないと、まちづくりはできない。 杉並は地方と異なり、人口減少はしないのではないか。
14	若い人のマインドを取り入れないといけない。 広報紙を見ても、若い人が手に取るような紙面になっていない。
学識経験者・区情報提供後の感想・質問事項	
1	若い人にバトンを渡すというのは、どういう意味か教えて欲しい 今の子供は、親、学校、塾の先生が普段触れ合う大人になっている、多様な大人と触れ合っていないことは残念だ。様々な発見が児童館にはあった。
2	社会の中で子供を育てることが必要。地域の実情に合わせて施設を考えていくのは良いと思う。久我山小学校を建設するときの議論は白熱したと聞いている。施設の利用者同士の交流は大切で、ゆうゆう館は一種の自助グループだった。場所が変わるとそういったことも壊れてしまう。大きな施設は必要無い。
3	区の施設は子供と高齢者だけの問題ではない。様々なジャンルの区民がいる。全世代、働いている人も含めて再編に関わる方法を考える必要がある。
4	再編整備を進めていく中で、ゆうゆう館や児童館が、コミュニティふらっとや子ども・子育てプラザに移行されているが、取組を進めていく中で出た課題や感想があれば教えてほしい。
5	ハコありきの計画に感じる。 区の職員は現場を実際に歩いて、自分の目でくまなく調査した上で地域の課題等を考えてほしい。
6	資料のアンケート結果を見ると、コミュニティふらっとやプラザの問題が好意的に捉えられているように見えるが、児童館の機能について公正なアンケートが実施できているのか、 少子高齢化の傾向については、杉並区は全国ほど進んでいないと思うが、区独自のデータを取った上で検証を実施できているのか。 ミスリード的な資料に感じる。詳しい人の意見が入っていない。
7	児童館廃止反対の署名をした時に、区立保育園の協力は得られなかった。小学校の校長先生も協力できないとの回答だった。区側の職員として従事している人は、立場上、区に気を使って自分の意見は言えない。 ヒアリングの仕方は適切なのか。心からの本音を言えているのかが気になる。
8	広報紙を見ても、平日の日中のイベントが多く、仕事をしている世代は参加できない。
9	若い世代が区の情報を得られない。どのような情報が出ているかも分からない。
10	例えば杉並公会堂の年会費は区民で1,000円と格安だが、区民に伝わっていないと思う。
11	SNS等を使い、プッシュ型で情報発信する必要がある。
12	民間では根回しをしてから物事を進めるのが基本だが、区は根回しができておらず、唐突感があるようにも感じる。
13	天沼地域の施設再編が話題になっているが、高井戸地域に住んでいると、天沼地域のことは分からない。地域ごとに施設のニーズは違う。
14	杉並区は広いので、区全域の単位で決めていくことは難しい。
15	お金があれば全て建替で解決できると感じた。ふるさと納税の流出額を抑えるとともに、納税額が増えるような（杉並が選ばれるような）魅力的なコンテンツを用意したり、建物をテナント貸しするなど、ビジネス的な要素を取り入れてはどうか。
16	アンケートについては、どちらでもないと答えた方が肯定・否定のどちらに寄っているか等、より詳しい分析が必要。

個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
区を進める考え方について	
1	各施設の特徴を踏まえた再編整備を。(例)図書館と中学校などは機能と対象が異なります。
2	やってみよう。
3	機能の相性を考える。
4	事前のニーズの調査が大事。
5	課題を行政が設定することに対してギモン。
6	区が課題解決のパターンを複数考えてから区民と対話した方が良い。
7	施設ごとの課題をしっかりききとってほしい。
8	区の方針ありきでなく、正確な資料とていねいな理由説明がほしい。
9	区の職員さんは現場を歩いて実情を知ってほしい。
10	できれば再編成は違う場所で建てて、館の休止をなくしてほしい。
11	広く皆に知ってもらう努力をする。
12	区がベースの案を出すときに、必ず複数案を出してほしい。できれば最低3つ。
13	区民との検討に当たり、選択肢を区にてご準備頂けませんか。
14	区民と共に方向性を検討する→賛成。
15	ビジネスマインド、マネジメントの視点がない。時間軸を考慮した上で取組を考える。
16	物理的な条件などを整理して(老朽化、耐震性、インフラ)。
17	情報はできるだけ出してほしい(施設再編の背景)。
18	区民が判断できるように情報を開示して欲しい。
19	大きなビジョンが先にあり、そこから20、30年先を見据えていくべき。
20	オンラインを十分に活用して欲しい。
21	課題整理、問題点の洗い出しを丁寧に行う。
22	進め方については、課題を共有する時点で区民からの要望等が提示されたら、拾い上げて、追って検討する場所を考えて欲しい。
23	まず大きなビジョンを定めるところからスタートする。
どんな人と・どんな単位で	
1	同年代が中心でありつつも必ずジェネレーションをこえた対話の機会が必要。実行できる、できないかより、こうありたい!から話をすすめる。
2	どのような施設かによる。子どもに関わることなら学区単位でもいいし、より多く、より幅広い世代の施設なら7地域でやるとよい。
3	利用者には団体があるものと個人しかいないものとある。
4	専門家の意見。
5	働いている忙しい人々の意見をどう聞くか。
6	施設の利用者。
7	「わからないから参加しない」という人もいることを考えてほしい。
8	児童館については学区単位。小学生本人たち(生徒会)に意見を聞いてほしい。
9	施設が廃止された地域の声、利用しなくなった人の意見を聞いてほしい。
10	特に子どもが利用する施設は必ず子どもの意見を取り入れてほしい。Direct(親を通さずに)
11	住民の意見を聞く場合に、子ども、若者、子育て世代を必ずかなり高い比率で入れてほしい。
12	高齢者、中年者、若者(学生)。年代を縦割りにしてほしい。
13	児童館の職員が子どものことを見ていた→これがなくなった。
14	中学校の学区が一つの単位。
15	年代別に意見出しをする。
16	検討は7、8人を1つのグループとして10グループ程の意見を集約。

17	マイノリティの意見も聞いて取り入れてほしい（障害者、LGBT、不登校の子ども）。
18	子どものことを専門家に聞きたい。
19	多世代がワクワクするように、色々な意見を聴く。
20	不登校の子の居場所を確保して欲しい。
21	自分の子供しか見られない人々のケアもどうすればよいか。
22	世代は広く、人数は多い方がいい。
23	より多くの世代の意見を取り入れる工夫。
24	従来の利用者は当然ながら、加えて様々な年代にも声掛けが必要。即ち縦断的な視点を持つこと。
25	検討は幅広い年代から聞き、40～50名程度が良いと思う（一学区）。
26	当事者を必ず入れる。
27	色々な人が入る協議会を作って議論する。
28	施設を利用し得る地域ごとに意見を聞くといい。
29	学区単位。
30	単位は7地域ごととする。または中学の学区。
31	単位はあまり多いとまとまらないので、7地域ごとが良いと思う。
手段・方法	
1	アンケートは取り方が難しいのでダメ。利用者と住民と行政のメンバー。
2	アンケートより対話。
3	住民と行政の協働で進める。長いスパンで。
4	IT活用、電子デバイス、オンライン会議、SNS
5	働いている区民（20代～60代）の意見をどう吸い上げるべきか工夫が必要。
6	街でもネットでもできるように。
7	該当アンケート。
8	対話→アンケート。
9	必ず量的調査、質的調査両方の視点で行うべき。また、出た結果をもとにワークショップを行うことで意見の整理ができると思う。
10	協議会の設置をしてほしい。利用者、関係者。
11	意見の聞き方としての手段、SNSを使用したネットアンケート等も必要ではないか。区外の方で区内施設利用者に対して意見を聞く。
12	運営者は何年毎かにシャッフルしてほしい。
13	施設利用者（子ども含む）、近隣住民、区担当職員の三者で時間かけ進める。
14	オンライン会議などでITを活用する。
15	児童館のハイシについては、ハイシされた児童館で発生している問題を検証して今後反映。
16	対話、アンケート、懇談会、SNS等併用
17	対話での意見収集
18	オンラインでの意見交換
19	考え方を伝えるときにもオンラインを使う。
20	拠点がいっぱいあった方が良い（民間の場所も使いながら）、地域のお店も使って。
21	住民のサービスを（選挙権比率ではなく）「子どもどまん中」で比率を考えてほしい。子ども+若者、子育て世代。
22	電子デバイスを活用し、オンライン会議も。
23	意見の聞き方はNetも活用して欲しい。迅速に進められよう。
24	SNSで投稿。
25	意見の聞き方はアンケート（IT活用）と直接対話の双方が良いと思う。
26	デジタル使えない世代の意見を直接きく。

意見がまとまらない場合の対応	
1	意見がまとまらない場合、多数を占めた意見ごとに代表者を出し、区職員と有識者たちが詰める。
2	最後に決まったプロセスをしっかりと説明する。
3	各地域での意見がまとまらない場合、整備の方針は施設のタイムリミットがあるので、アンケート等の結果を尊重すべき。
4	最後は区が決める。
5	意見がまとまらない場合、まとまる（納得するまで）時間をかける（見切り発車しない）。
6	意見まとまらない場合、区が中心になり調整してもらえないですか。
7	最後は区。
8	纏まらない場合は、最終的に区にまかせる。
地域間での施設の有無（偏り）について	
1	それぞれの地域によって異なるのは、画一的になるよりいいと思う。
2	施設がない場合は代用を考えてもよいのではないか。
3	民間施設も有効活用。
4	地域間での偏りの有無はあっていい。地域によって人の生活は異なる可能性があるため。ただし、行政の一方的な決断で偏りがあることは例外。
5	地域ごとの隔たりよりも、そこにニーズがあるかが大事。
6	遠い施設に通わねばならぬ場合、ムーバス等（公共交通）を手配してください。
7	ニーズに応じた施設整備。
8	偏りがNeeds（ニーズ）に依るのであれば、それは受け止めるべき。
9	地域ごとの偏りはしょうがない。
その他	
1	検証は途中でやる必要があったのではないか。
2	ビジネスマインドが必要。
3	ホームページが見にくい。
4	アンケート結果で「どちらでもない」を減らすためには、情報発信の仕方が大事。
5	情報発信をプロに任せられないか。
6	施設の建物だけでなく、その職員の役割についても検討してほしい。
7	今まで箱ありき。中身が大切。
8	運営者、利用者、講師達では意見が異なる。
9	ビジネスマインドを持ってほしい（どうすれば区が潤うかの視点）。
10	ゆうゆう館の事業はビジネスの観点ではない（講師料等はボランティア程度）。
11	それぞれの施設の目的がないがしろにされているのでは？（目的に際してそれぞれで話し合い）
12	ビジネスマインドを忘れない。
13	目的が違う施設は独立させた方がいい。
未来へつなぐ公共施設のカタチ	
1	住民と行政と専門家がバランスよく（誰かに強いパワーがない）手を取り合って一緒につくることが大切だと思います。そして、透明性をもって。
2	児童館、ゆうゆう館は大きな施設ではなく、地域の中に点在し、社会全体で育てていく。
3	時間がかかること、面倒なことを恐れずに、住民・行政協働で。
4	少子化や財源の問題で今までのような施設はできないかもしれないけれど、目的を見失わなければ、良い代用見つかるかもしれない。
5	それぞれの施設の特徴と地元住民のニーズをしっかりと踏まえて、公共施設を再編整備していただきたい。区民と区役所職員との情報交換・意見交換は貴重でした。

6	児童館、学童クラブの本来目指す機能が、地域の中で果たされ発展していけるような施設になりますよう。運営面含め。
7	区役所、職員、区民、老若男女が対話により近づいていくことで、杉並は住みやすい街になるのだと思いました。
8	理念のある公共施設作り。現場の声をより多く集める。
9	計画決定プロセスにあたって、まず、区からの情報提供→区民参加の意見交換→アンケート集計→広報等への報告等しっかり行ってほしい。
10	異年齢の人たちが集える地域コミュニティの核となるような場所。
11	真の共生社会に向けて、世代間交流、マイノリティとの交流（障害者、LGBT）。サービスの比率を子どもどまん中で考える上で、共生社会を考えてほしい。
12	未来を考える場合、区がどの様にして行くかの様なVisionが大切ですね。
13	20、30年後に住みたい街を形成する。
14	誰もが気軽に利用出来る施設。設置にあたっては、将来の利用者の声を収集する。迅速に進めること、且つ経過を適宜区民に報告すること。この様な主旨の会議続けて頂きたいです。とても有意義でした。
15	安全で安心して利用できる禁止事項の少ない施設。限定しすぎないゆるい施設。
16	長く利用できる様に長期計画を立てて愛される公共施設へ。
17	幅広い世代が安心して利用できる施設。
意見シートへの意見	
1	他世代の問題が日常ではわかりにくいので、いろいろな方の話が聞けて良かったです。時間が短かったのもっと話し合える時間がほしかった。施設を再編する時はそれぞれの目的を見失わないようにすすめてほしいです。
2	杉並区は施設使用料が高過ぎます。区のHP等、西暦をもっと書いてください。何年前か？とか自分で西暦に計算してみています。
3	今日は皆さまおつかれさまでした。公的な学習スペースが少なすぎる。図書館で勉強禁止、PC禁止をやめてほしい。Wi-fiが使えない施設が多すぎる。
4	公的施設の利用費が高い（体育館ジムで500円かかるなど）。健康を維持するのは住民の権利にあると思います。
5	若年シングル向けの福祉が少ない。若年シングルも市民にカウントしてますか？
6	まちにイスが少ないので増やしてほしい。
7	施設再編整備にあたっては、今日のように区民の意見を聞きとって計画に反映させていってほしいです。また、ハコモノだけでない中身の運営についても同時に考えてください。
8	今回、このような経験は初めてでとてもよい刺激になりました。区の施設、あり方、全く知らずになりました。大学生くらいから子育て、仕事時代に利用する事は難しい。そのような世代の意見を取り入れる方法をもっと工夫する。
9	下高井戸集会所、グラウンドの利用をするのに安全面での問題点の改善をお願いしたい。水道道路（交通量が多い）に面して、建物の前だけ歩道があるが、それ以外は狭い。特に神田川遊歩道から信号のところ集会所に行くのは自転車と歩道の幅がほとんどありません。親子や子供、大人の利用者が安全に建物に入れるようにグラウンド側からの通行など考えてください（現行もあるが、遠い）。
10	高井戸小学校の校門の警備は警備員が実施していますが、2年程前に機械警備へのアンケートがありました。その後の機械警備の実施は見直され、人による警備が継続していますが、今後どうなるのか示してほしい。
11	給湯室はいつもスタッフがいる事務所に近い方が良い。防災観点、ガスコンロではなくオール電化が良い（某ゆうゆう館で数年前、火事未遂があったので）。

12	コミュニティふらっと、ゆうゆう館、児童館はビジネスなのか？金もうけ？講師はボランティア価格さえ頂いてない。
13	このような主旨の会議を続けていただきたいです。PowerPointで見ることが出来れば、配布資料は白黒で十分です。コストを考えましょう。
14	当区に20年住んでいるが、斯る意見交換会は初めてでした。区－住民間の距離が少しでも近づいたと感じました。区役所のご尽力に感謝です。
15	本日の意見交換会の内容は、全体に（対外的に）公開するようにしてほしい。話して満足、学びがあって満足、で終わらず次回以降の意見交換会や参加しなかった方への考えるきっかけ、情報提供をしてほしい。
16	児童館廃止方針は見直して下さい。国の方針とも異なる。児童館のあり方を考える検討会を設置してほしい。基本方針の見直しをしてください。
17	下高井戸児童館が廃止され、放課後居場所事業がはじまり3か月経った。イベントの数や質が下がっている、高三小以外の子どもの利用のしにくさを感じます。機能移転と言い難いです。こういったマイナスの意見に真摯に対応していただきたいです。
18	今回のような区役所職員の方々と区民が意見交換する場はとても貴重と思いました。その点で新区長のリーダーシップに敬意を表したいと思います。施設再編の見直しは非常に重要と思いました。これも新区長のリーダーシップのおかげだと思います。
19	施設にはそれぞれ特徴があるので、それを尊重していただきたいです。地元住民のニーズも重要です。
20	自転車通行はかなり危ないケースがあります。車の責任を追求するだけでなく危険な道路、場所、乗り方を含めて広報活動が必要と思います。
21	添付資料の内容が公平さが（評価）どうかと思われるものがありましたので、検討願いたいです。アンケートより顔の見える対話が大切ですね。

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（阿佐谷）

開催日時：令和5年7月5日 午後6時～午後8時30分

場所：阿佐谷地域区民センター 第1・2・3集会室

参加者（区民）：19名

	意見
個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
①区を進める考え方について	
1	昔の小学校設置の基準のように、各施設設置基準があったのでしょうか。
2	既存の施設をベースに考える必要があるのでしょうか。
3	今日のような会、とても良いと思う。
4	地区間のコミュニケーション。コンパクトシティ構想を作りたい→ワクワク感。
5	子ども（メイン）と保護者（フォロー）。
6	住民に新たに考えさせる前に。行政のいままでの結果はどのようにまとめたのか。
7	地区がバラバラの印象を受ける。
8	若い世代が参加しやすい仕組みを（こういう場に）。
9	中学校や高校でこういうことをするのは？
10	今までの何が問題だったのか、きちんと説明すべき。
11	区民の意見を計画段階からヒアリングすることは大事。
12	もう少し区民に対する施設整備を進めていく内容について、様々なアナウンスをする必要があるのではないか。関心がないように見える市民が、実は情報が届いていないということはないか。
13	よいと思うが、世代間の偏りをなくすように歴史を知る会がほしい。
14	進め方がうまく行けば良いと思う。
15	定量的な分析。クラスター分析など用いないのですか。
16	歩きやすさ、稼働率、メンテナンス、立地と人口動態、収益性、、、を見て判断。
17	箱物だけではなく、区全体が気持ち良く過ごせる町づくり。
18	基本的にきれいな施設になっていくのは賛成。ここの地域区民センター、児童館は利用頻度上がった。
19	複合化良かった。「街はく」→児童館にもPRできた。一緒に楽しめた。
20	複合化していることで利用しやすい施設が出来ることは良い。
21	集まって何かしたい人のために公共施設があるのは良い。
22	ニーズ毎にグルーピングしてみても良いのでは。
23	多世代型の施設も良いと思う。
②③④どんな人と・どんな手段で・どんな方法で	
1	実際に来ても若い世代がいないから、意見が偏ってしまう気がする。
2	もっと若い世代を呼んで今日のような会を開きたい。
3	SNSで（Googleフォームとか簡単にできる）アンケートをとる。施設に足を運ばなくてOK。
4	特化する方向→専門＝区外との交流
5	多数決にしたなら、めちゃくちゃ反対意見が出ると思うので、資金があるか分からないが、両方のニーズに答える整備の方針を進める。
6	オンラインでの集約。月2回程の対面。
7	今日のように、議員の人たちが傍聴していると意見出しにくい雰囲気。

8	200mとかで意見交換会を開くと若い人たちが来ると思う。
9	杉並区は地区により分かれていて。区全体の像がよくわかりません。
10	自由に動くことが出来にくい高齢者や、子育て中の両親にも、多くの意見を出してもらおう。
11	できるだけ利用するに便利で使いやすさを考えた地域を単位にして、それをまたつなげる。
12	高齢者の団体、集まり→思いをすくい上げる。
13	対話。LINEアンケート。施設見学会→アンケート。
14	児童館や学童のスタッフにも意見を聞くのはどうか。利用者のニーズをよく知っていると思うので。
15	アンケートだけでは細かなニーズを聞きとれないので、何らかの対話形式がよさそう。
16	生活圏（利用者アンケート） & 7地域
17	各地域の愛着がわくわくへ
18	利用者+次期利用者。地域住民（各年代）。
19	LINEアンケートが来ると姿勢が分かる。
20	意識しないでも情報が入る仕組み。
21	年代別ではなく、将来性の高い子供優先の考え方。
22	これからを考えると「子供」メインが良い。子供優先。
23	対話・懇談会が良いと思うが、どの様にまとめるか、分析するか。
24	ネットもうまく活用してほしい（若年対策）、YouTube Liveならチャットで意見もとれる。
25	区内にある団体（NPO、任意）の意見を聞くのも方法だと思う。
26	若い人の意見を吸い上げることが大事。
⑤意見がまとまらない場合の対応	
1	無理に進めず継続。
2	杉並区の魅力となる施設かどうか。
3	富山のように対話を重ね、言葉を尽くす。
4	誰もが利用しやすい＝社会的弱者にメリットがあるもの。
5	多数＝需要？視点を変える。
6	視点を変える→区の魅力につながる
7	何か良い方法がありますか（ニーズ分析法などあるけど、、、）。
8	まとまらない地域については対話をくり返すしかない。
9	若い人は「居場所」でつながるより、興味・関心でつながる。
10	「町会」。課題の多い町会との連携。
11	「学びの場」。社会人教育。
⑥地域間での施設の有無（偏り）について	
1	地域特性
2	将来的に負の遺産にならないかどうかで判断する。
3	全てを完璧ということは難しい。それを補うものは何か。
4	偏りは仕方ないが、何も無い地区は作らない+サポート施設をつくる。
5	地域にこだわらない考え方。
6	区全体として課題をとらえた方が良いのでは。
7	そもそも「ゆうゆう館」とは何か。高齢者の居場所だけなら、他との交流は必要なくなる。
8	全てバランスよくはムリだと思う。一定の稼働率、人口動態をみながら判断するしかない。
9	地域ごとに特長が出て良いと思う。例：特長のある公園
その他	
1	民間の居場所への行政のフォローが必要ではないか。
2	器が決まっていたら、運営・サービスでフォローしよう。
3	施設を使う人が偏っている。

4	私の知っているゆうゆう館は、利用者の平均年齢が74～5才で、毎年上がっている。
5	ゆうゆう館の利用者の年齢の偏り（高齢者といっても年齢の幅が、）。
6	年代でつくられたハコ（ハード）、コンテンツ（ソフト）がいかに合っていないかを認識した。リアルとネットもうまく使って。
7	学童の充実。子育て世代は子供を安全にあずける場所ほしい。
8	60代の現役世代が地域にいないことも課題。
9	施設のPRが足りない。一部の人のための施設になっている（予約する人はいつも一緒）。
10	年齢による枠にはめるのは思った以上に反発ある。やりたいことはみんな様々。
11	ソフトのことをもっと考えて。ハードはネットもうまく使ってほしい（ZOOMやYouTube）。
全体共有	
1	最初は区側の計画プロセスが見直され、現時点で再編を進めている施設もやり直せると思って喜んだが、実際はそうではなかったため残念。でも、区長が変わり住民の声を聴いてくれるようになったことは嬉しい。区長には現計画の見直しを求めている。
2	今まで参加した説明会の中で一番柔軟な対応であった。子どもの権利条約ができることに感動した。秋に向けて住民の意見を反映させてほしい。歩いていける距離に児童館やゆうゆう館を、小さくてもいいから欲しい。
3	区の職員の考え方が分かって本当に良かった。合理的な説明だけではなく、住民をどのようにするのかという考え方が根底にあれば良い。
4	杉並のビジョンを変えられないと、施設再編の計画も変えられない事が分かった。検証結果で漏れている視点を今後の計画にどれだけ反映させられるかが大事だと思う。
5	区長が変わって部課長の顔が変わった。笑っている。子どもたちが主権者として考えてほしい。児童館が安心して過ごせる場としてあってほしい。
6	検証の進み具合と内容を伝えて欲しかった。期待外れだった。計画の説明をしていないのに、進め方に意見をというふうにはならなかった。
7	コミュニティふらっとのことは知らなかった。休憩所というのを見て入ったことがあるくらい。30～40カ所出来るということだけど、今のところ5カ所だけ。全体的に情報不足だ。
8	阿佐谷けやき公園プール（現阿佐谷地域区民センター）の敷地を手に入れるのに何年かかったか。職員の方は区を良くするために自信をもって本当の仕事をしてほしい。
9	今日参加して、施設を作る側（区）の苦勞を知った。本日の意見交換会には若い人がいない。高齢の方ばかりが参加する会だと意見が偏ってしまうので、若者に参加してほしい。中学校や高校でも、こうした意見交換を開催したらよいと思う。グーグルなどネットで意見を募ると若い人たちは参加しやすい。まずは色々な意見があることを受け入れていけたらよいと思う。
10	ドイツに10年ほど住んできた中で、行政はプロであり、住民が何を希望しているのかを組み入れて良くなっていく状況を見てきた。杉並区では各地域に一律に同じものをつくるのではなく、誇れるような施設を作り、移動手段などのきめ細かいサービスで対応できると良い。
11	こうした会に出てきてくれる暇な人が増えるような社会になって、もっと参加してほしい。「時間をかける」と「時間がかかる」は区別してほしい。今日のようなことを継続してほしい。地域の特性やハザードマップ、隣の区との施設の役割分担などを踏まえ、地域の特徴を生かして進めてほしい。
12	1年生と5年生の子がおり、児童館や学童クラブを利用している。これまでは利用者としての視点しかなかったが、様々な意見に触れる良い機会となった。将来的に区の魅力・財産になるのかという視点が大切。

13	<p>転入して間もないが、参加して話をする事で安心感を持てた。また、つながりを感じる事ができ、有意義だった。</p> <p>施設の移り変わりを知らない世代にも届くように情報を発信してもらえると、区民がもっと興味を持てるのではないかな。</p> <p>わくわくすること、愛着を持てることが大事で、施設も愛着の1つになる。</p>
14	<p>無作為抽出で選ばれ参加した。</p> <p>自分の関心は半径数mの範囲（友人や、孫を預ける保育園のことなど）でしかなかったが、熱い皆さんの意見に触れて刺激になり、本日参加したことで施設に意識が向けられていると感じている。</p> <p>他の区民の意見に触れる機会が無かったが、議論の入口に立つことができ、ありがたい。</p>
15	<p>公共施設が楽しいまちづくりに貢献するという視点をもって欲しい。各地域に特徴的な施設があった方が良いのではないかな。施設にしても、公園にしても運営の部分が大事だと思う。</p>
16	<p>区立施設を利用している人は保守的な考え方の人が多い印象。全体として区民が暮らしやすい街にして欲しい。公共施設ばかりではなく、区政全般で区民が成長できる街にして欲しい。</p>
17	<p>年代別にくくった施設でも、利用者の中でギャップがあることを本日知った。普段から阿佐谷地域区民センターを利用して、多様性がある区民が、施設の複合化でうまく共存できている事例だと感じている。今回の事や施設の利用促進を広げていくには、ネットをうまく使って、施設のPRやイベントのコンテンツ案内をした方が良い様に思う。</p>
18	<p>ゆうゆう館の平均年齢は75歳程度で、60歳を過ぎてから参加すると更に上の世代（親世代）と交流することになる。必ずしも60代が使いやすい施設とは限らない。</p>
<p>未来へつなぐ公共施設のカタチ</p>	
1	<p>阿佐谷南児童館は、あのまま残して下さい。</p>
2	<p>歩いて行けるとところに1つの小学校に1つの児童館と学童クラブ。杉並区のはこれの児童館を守って下さい。</p>
3	<p>施設再編とはちょっとずれますが、阿佐谷北東問題。杉一小は現在のところにたててほしい。ハザードマップをみても低地への移転はダメ。学校は住民にとっても避難場所。河北跡地は区民公園、小学校の第2校庭と工夫してほしい。</p>
4	<p>若い世代に参加してもらうように大切にしてほしいこと。200m、Googleフォームでアンケート。今日来てみても高齢者の方や上の世代の方が多い。中学、高校でもこういう会が欲しい。こういう会が文句を言い合う場ではなく、まず、受け入れて認め合えればいい。</p> <p>今までは利用するだけ、体育館、小学校、すごくいい機会で、区の職員さんは大変だなと思った。</p>
5	<p>「時間」を掛けることを続けて欲しい。地域特性（地理、交通など）を生かし、特化（専門）型施設を。スポーツスタジアム（海外は特に）の例を参考にしてみても（エスコンフィールドとか）。早稲田大スポーツマネジメントが詳しい。</p>
6	<p>「区民からの意見を聞く」という新しい進め方に一歩踏み出した勇気を大切に、打ち上げ花火に終わらないよう継続されることを望みます。</p>
7	<p>様々な機能が整った特別な施設ということではなく、日常に利用できる半径が広すぎないものが必要と考える。</p>
8	<p>「同じ地域に住んでいる」という安心感で、とても有意義な時間になった。普段使っている施設の移り変わりも知らないことが多かった。わくわく＝愛着。施設もその1つ。いろんな世代が地域を楽しめる施設づくりを。</p>
9	<p>利用者としてしか今まで関わってこなかったが、創る側の苦労がよく分かった。将来的にも杉並区の魅力になるか。</p>
10	<p>私の考え、大切にしたいこと。施設をコアにした「楽しい街づくり」。各施設、公園とかも特長があって良いと思う。</p>

11	多世代型。年齢によって区切るのはやめよう。「これから何をやりたいか？」や「これから何を知りたいか？」で集える施設。
12	誰でも気軽に使える方法と内容。充実した時間を持てるように。
13	年代でくくった施設はあまりいらないかも（児童館、学童は別）。コロナ禍でネット会議も使えるようになった。リアル（施設）とネット（ZOOM）もうまく使ってほしい。施設はきれいで合理的でありつけてほしい。
意見シートへの意見	
1	<p>進行を柔軟に変更してくださり、ありがとうございました。</p> <p>秋までに総合計画、実行計画、施設再編計画が新たに出されるとのことで期待します。住民の意見を取り入れていく仕組みを作ってください。</p>
2	<p>色々な世代がいるグループでとても刺激になり、また、感心することが多かったです。だからこそ、もっと”次の世代”が呼び込む（実は一番時間が取れないと思うけど）ことを積極的に進めて欲しい。</p> <p>いかに「自分ごと」にするかを進めていくことが時代の求めることだと考えます。自分の家、自分の部屋、自分の庭とみんなが思えば、素敵な施設が出来ると思います。職員の皆様、お疲れ様ですが、引き続き精を出してください。</p> <p>※別件ですが、教育（学校）についての会を是非よろしくお願いします。</p>
3	<p>・8月のシンポジウムには多分出られないのですが、3/26の「さとことブレスト」シンポの時にチャットアプリみたいのを使ったのですが、私は割と活用したけど、できない人も多くてかたよってしまった。あと充電足りないとかも発生するので、こういうシステムは今後参加者全員に事前に通達するようにしてほしい。</p> <p>・讃岐先生のレジュメは、事例が狭い範囲の切りとりで、たとえば「ワクワク」のしょぼい椅子やTV、全体はもっとちゃんとしてるかもしれないじゃないですか。で、切りとって「これ」と言われましても、また、「更新問題」の「盲目的に点検」という「見る」ことに盲目を紐づけがおかしいし、わざわざ視覚障害を比喻にするのは軽率！</p> <p>・「さとことブレスト」では、この用紙がロゴformで提出できた。書く時間ないので毎回それにしてほしい、非ネットの人のためにはFAX受付体制を。</p> <p>・区長だけでなく区職さんに対話の場に出てきてほしいと言いつづけてきました。とりあえず第一歩。「対話でつくる区政」への意識改革は区民も区職もこれからです。</p>

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（方南和泉）

開催日時：令和5年7月6日 午後6時～午後8時30分

場所：永福和泉地域区民センター 第1・2・3集会室

参加者（区民）：11名

意見	
個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
①区を進める考え方について	
1	区の職員と住民と一緒に考える場を持つのは良いと思います。
2	区から複数案を区民に提案する。
3	施設再編の見直しはgood。区民参加で。
4	区民から提案を公募する（郵便、インターネット）。
5	違う意見を聞くことは大切。
6	いいと思う。
7	対話型の進め方賛成。
8	たたき台が無いと時間がかかる。
9	基本的に良いと思う。
10	広報が重要。
11	広報は十分に。
12	基本賛成。「声なき声」どうする。
13	「知っている範囲でしか考えられない」ので、行政と住民たちが一緒に学びあう「勉強会」のような仕組み、プロセスが必要では。
14	話しあいに参加したり、アンケートに答えるのは意識の高い人（25%）。残りの75%をどのようにこういう集まりに参加してもらうか。
15	デジタルサイネージを区にひとつずつ置く。
16	”たたき台（例：3案）の提示”だと住民の立場が「与えられた中から選ぶ」にとどまってしまうのが残念。
17	100年後までもつ施設を（可変性がある）。
18	スタディーツアーなど横並びで考えあうとよい。たたき台の前または後にあってもよい。
19	「説明会」という言葉づかいを「相談会」その他など内容に合わせて変えるとよいのでは。
20	たたき台を区からだけ（複数案）ではなく、区民からの提案を入れた案を作っていければよい。
21	説明会というネーミングはやめよう。相談会、報告会など。
22	計画のたたき台の前に地域住民との対話があった方が良いのでは。
23	提示されるたたき台があることで選ぶ手段になる。
②③④どんな人と・どんな手段で・どんな方法で	
1	意見の聞き方については利用者懇談会が有効。
2	テーマに合わせて利用者、そうでない方、これから利用する方等様々いると良いと思いますが、大勢では難しい。1回に20名程度？
3	計画は利害関係者の住民、専門家の検討が必要。
4	杉並区の7つの地域（ゾーニング）は行政の便宜上に過ぎない。中学校区のコミュニティで議論を。
5	色んな単位が良いと思いますが、まずは7つのセンター単位。区民センターの地域懇談会を活用する。

6	「リモート」ができない方へはサポートすることで対応。
7	意見を聞いていく単位は、関係する施設の利用者、町会、自治会関連の方たち。
8	小学校、中学校の範囲の区民から意見交換会を行う。
9	スタディーツアーを行う（使ったことのない施設に行く→報告する）。その後に議論する。
10	定期的に来るときのメンバー→新しい方も入るような仕組みを。
11	中・高生の意見を。中高生サミットを行う。SNSを活用する。
12	現役サラリーマン世代の参加を。
13	緑や天然木を使ったたてものが良い。
14	多世代が集える場。
15	世代を分けるよりはごちゃまぜがいい。
16	エリア単位（7地域ごと）
17	記名式のアンケート。ウェブでできると良い。
18	実際に使う人達でアイデアを出し合いつくった施設をずっと愛される。
19	全年代と検討。人数は（ネット利用で）多数。
20	これまでよりは少し広めのエリアで。
21	WEBでのアンケートをみんなが知れるように。
22	より多くの人に告知をする。
23	参加をするとおもしろい。
24	施設は長く使うので子どもたちのためにみんなで考える。
25	広い世代。
26	地域ごと。
27	意見を言ってくれない人、声なき声をどう吸い上げるかを考えて。
28	世代を分けて議論するよりも一緒に議論したほうが良い。
29	子どもの声を聴いて。
30	色んな人がいることを知る場を作る。
31	興味がない人が多いことが課題。
32	町会が一つのテーマで話すことに意味がある（誰でも参加できる場とは別に）。
33	いろいろな世代がいっしょに考える。「おおぞら公園」の経験が参考になる。
34	利用者懇談会は絶対必要だが、利用したことのない人も参加する形が望ましい。
35	「〇丁目」とかそういう単位ではなく、その地域ごとの公共空間（ex：商店街とか）で考えるとよいのでは。
36	小・中学校区だと単位としてまとまりやすいのではないかと（愛着もある）。
37	多世代で同時にディスカッションしたい。
38	「おおぞら公園」を作った時のワークショップが参考になる。
39	エリアで分けるのではなく、中核施設、中核機関単位で（駅、商店街、学校）。
40	利用者と専門家の意見。
41	アンケートは記名式（匿名だと否定的なものも増えやすい）。WEBなどは意見が出しやすい。
42	高架下の活用など使えそうな所の情報は入るのか。
⑤意見がまとまらない場合の対応	
1	お互いの意見を聞きながら緊急性の判断をして進める。仕分けをして。
2	最後は区長が判断（全員納得するのは困難）。
3	判断の裏付け→無作為アンケート結果。利用していない方の意見を聞くことも大事。
4	区長判断。
5	色々な意見を吸い上げていることが大事。
6	緊急度を見極めることが重要。

7	無作為抽出で投票をするなど、声の小さい人の意見をすくう。
8	人と人とのコミュニケーション作る場が大事（建物ではなく広場）。
9	利用者の立場から見て使いづらい施設を作ってもしょうがない。
10	小学校のときから自分たちのまちを考える場を作る。
11	無作為抽出投票。
12	住民投票などもあるがたくさんはできない。
13	意見を聞くアンケートのようなものなら投票でもよいかも。
⑥地域間での施設の有無（偏り）について	
1	地域の特性を見て施設を整備する。
2	ある程度止む無し。
3	あっても良い。地域の声。
4	地域の特色を生かした差があっていい。
5	基準があったほうが良い。
6	公平性の担保は必要。
7	和泉地区には施設が少ない。
8	公平性（例：単位人口当たり）。
9	地域間での施設の有無の偏りはない方が良くと思います。
10	和泉には健康で文化的な施設がない（体育館・文化ホール）。
11	地域特徴を生かした施設を。平均的に置かなければいけないものと特性に応じたものを。
12	まちづくり、地域の差もとらえて行政が大きくテコいれしていく手法もある。
13	和泉は区境。行政がお金を出し合わない。
14	地域によって差があってもよい。
15	公共施設を作るとき～壊すときもお金がかかる。長いスパンで考えていかなければならない。（外部 アセスメント）
その他	
1	児童館は存続。廃止した児童館を復活。
2	コミュニティふらっとの運営に区民参加の回路を。運営協議会の設置を。
3	ゆうゆう館を存続すべし。
4	整備の方針については緊急度を明確にして各施設のタイムリミットを設定していくことが第一。
5	ライフサイクルアセスメントを考えて施設を計画する。
6	区に1つしかない施設。大元は1つでも出張する、宣伝する等して皆が知る、使うように。
7	今あるものを活用してコミュニティ形成。
全体共有	
1	区民の意見を広く聞くという姿勢が大切である。
2	建物だけではなく、建物をどのように活用していくか考えることが必要。関係する皆が共通のビジョンを持って検討できると良い。
3	今日の意見交換会について、地域単位で住民同士の意見交換することで、地域の中で繋がりを持って良かった。
4	公共施設には保育園、小中学校からお墓に入るまでお世話になる。人にもライフサイクルがあるように、公共施設にもライフサイクルの考えを取り入れて、維持管理や利活用を検討できると良い。
5	公共施設の望ましいかたちとして、いろいろな世代、障がいがある人、ない人などが温かく見守りながら共有できるものであるとよい。みなさん、地元愛にあふれていた。

6	公共施設は、一人一人が自由な個人として発言できる場であるとよい。 個人としてその場で発言していくことで 活動が発展していく場であると思う。 伝統はあるが区内に一つしかない「消費者センター」、区内あちこちに出来つつある「コミュニティふらっと」、みんなが意見をもち寄ってできた「おおぞら公園」。
7	やり方が違うから結果も違ってくる。杉並区の独自のやり方、進め方を発明しましょう。結果を変えなかったら、やり方から変えよう。今日のやり方がとても素敵だった。 議員さんは、「こんなところに来るんだ」と思ったが、声が聞こえなくて残念だった。 職員もマイクを回しているときに飛ばすが、一緒に考えるなら、発言すべきだと思った。
8	公共施設は誰でも集える、フレキシブル、オープンであること。 箱ではなくコンテンツ。100年持たせるためには、その間に使命も機能もかわる。 要はコンテンツなので、「原っぱ」でもよいくらい。いい機会をもらった。 区長には「和泉」という地域をぜひ覚えてほしい。
9	固定観念に縛られずに、時代によって形を変えられる施設を。
10	イベントの多様性などを踏まえ、変化に対応できるような施設を。
11	人に使われる施設で、他区に自慢できるような施設を作してほしい。
未来へつなぐ公共施設のカタチ	
1	公共施設再編には本日みたいに広く区民の意見を聞くこと。これが一番です。
2	人生のライフサイクルに合わせた公共施設の計画が必要。
3	公共施設のもつ役割を改めて考える機会となりました。地域の方にとって何が重要なのかをまずは細かく検討していく必要があると思います。
4	箱物だけのことでなく、その中での人とのつながりが大切。お互いのことを知り合い、一緒に住みやすい杉並を創って行くという共通のビジョンを持つこと。
5	ひとりひとりが自由な個人として発言できる場。発言することで問題を共有し、ともに活動できる拠点。
6	いろいろな世代、障害のある方、ない方がお互いをあたたかく見守りながら交流できる雰囲気があると良いと思います。
7	だれもが集えるオープンでフレキシブルな場の提供。
8	「やり方が違うから結果も違ってくる」と思うので、杉並区のやり方（進め方）を発明しましょう。
9	固定観念に縛られず時代に応じて形を変えていける施設。
10	変化に対応。イベントの多様性。
11	地域に愛されて、ちゃんと利用される施設。
意見シートへの意見	
1	色々な方々と一緒に考える場を持てることはとても良いと思います。 多分、その姿勢が大切なんだと感じました。実際問題、この場を積み上げて行く事は大変だと思います。縦割行政の中で、それぞれの計画を作るために場を設けるのは難しいと感じます。 日頃から地域の中に自分達の暮らしを考える場があり（それはごちゃまぜな人達で）、その場が定期的に設置されている（プラットフォーム？）、井戸端会議のように。そこに必要に応じて意見を聞く場が持たれると良いのでは？と思いました。 一緒に考えたい区民は沢山います。その仲間を少しずつ増やして行きたいです。 区民と共に実現する基本構想を期待しています。箱物ではなく、まずは想いの共有から。一緒に宜しくをお願いします。

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（西荻）

開催日時：令和5年7月8日 午後2時～午後4時30分

場所：西荻地域区民センター 第3・4集会室

参加者（区民）：26名

意見	
個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
①区を進める考え方について	
1	区を考えている施設整備の進め方は賛成です。ただ、進め方のプロセスが不明確。時間的な目安を決めたほうが良いです。公開型、意見交換は○。
2	玉突き建替え課題（箱or機能）。空き場所の活用を。
3	施設に行くことで安全・安心を感じることができる施設。
4	全世代が利用できるフラットな施設（特定機能ごとの縦割りでなく）。
5	区民からの意見収集のタイミングが前になる&増えるのは良いポイントだと思います。
6	多世代がいることで安全を保つことができる。
7	安全・安心な居場所づくり。
8	（ソフト・ハード両面で）区のビジョンが方針を体現していく。
9	（全住民がかかわる）地域の他の課題を同時に解決することも重要視する（ゼロカーボン、防災など）。
10	将来ニーズが変わった時にも転用できる施設としておく。
11	計画を考える上で施設の分類を分けて考える。
12	この進め方がスタートする以前のものをごどの様にするのか。何か出来るのか。
13	過去の進め方の総括、反省が必要。
14	8月のシンポジウムまで時間が短い。ガス抜きではないよね。
15	財源についても合わせて考えていく必要がある。
②③④どんな人と・どんな手段で・どんな方法で	
1	杉並区の地域行政も弱点の一つ。地域単位に共通性がない。
2	地区割の統一化（民生委員、震災救援所、小学校など）。
3	テーマごとに特設サイトを作り、フォームやメールでやりとりできるといい。対面も合わせて。
4	現在の施設利用者。小・中高生、若者など（将来の利用者）。無作為抽出、一般公募等。多様な参加者で。
5	まずは傾聴。わかってから意見を述べよ。
6	全区民に周知する。その上で、意見提出（団体・個人）してもらおう（文書でも、WEBでも）。それを公開し、事務局が次の議論にアジェンダする。
7	対面とWEB両方が必要。
8	施設毎の検討時にオープンハウス（模型やパネル等）。
9	整備する施設を利用する人だけでなく、これからの利用する人々も必要です。また、職員側も検討会に参加する協働した意見交換が欲しい。
10	整備する建築物に対する早めの情報提供を行って、その地域で必要な施設を地域の皆さんで相談する方法も欲しい。前もってこれを改築するという内容では無くて。地域内での意見公開もないので区で全体をまとめることも容易ではないかと（整備する施設の代替となる施設が必要）。
11	個別具体的な案件ごとに進めるべき。

12	便益者を中心に進めるべきでは。
13	利用者懇談会が効率的だと思う。
14	学校の場合、学区単位。
15	現状に批判的な方達。その施設から離れてしまった方達。
16	住民同士の話し合いの場に区の職員が出向く。
17	区職員が区の施設に出向いて直接利用者に聞く。
18	働いている人の意見も。目安箱等。パート、正規職員で意見の重みを変えない。
19	働く人の意見がどう反映されるか。吸い上げられるように。
20	年代についてはなるべくある程度まんべんなく。特に若い世代を入れるにはどうするか。
21	アンケートだけだと全体的なことに偏る。
22	利用者が少なくても大切なことがあると思う。それをどのような形で数値化するのか。 (例) 高校生の利用が数少ないが継続して利用があるとか・・・。
⑤意見がまとまらない場合の対応	
1	対面に出た意見をアンケートで聞いていく。
2	意見がまとまらなくて当然。
3	(まさに議論のポイントだと思うが) 集まった意見を、誰が・どのように?を事前に決める。もしくはアナウンスする必要がある。
4	複数案を客観的評価指標に基づき比較評価(防災、まちづくりの指標なども含む)。
5	複数案の中でも答えありきでないようにしてほしい。
6	"傾聴"第一で自己の意見は1/10話すのみ。
7	意見集約には様々なデータの見える化が必要。
8	最上位目標を決める。「これだけは譲れない」というものを。
9	最上位目標は人により異なる。議論できる場を。
10	意見についてルール化が必要。賛成=ともかく賛成、反対=絶対反対は無し。賛成ならばなぜ賛成なのか、反対ならばなぜ反対なのか、それに対してどうして・・・・とルール化する。どこかで落としどころを見つけない。
⑥地域間での施設の有無(偏り)について	
1	地域差が生じるのは仕方ないかと。ただ利用できない状態は避けたい。
2	区境であってもどこでも使える施設。
3	偏りがある方が自然。
4	多機能施設(例:中学校→高齢施設へ(未来))
5	地域内での意見交換会希望。
6	偏りはある程度許容。駅周辺を中心に集約。公共交通を確保して偏りをカバーする。
7	震災救援所など災害拠点はなるべく偏らないように配置する。
8	平時と災害時で必要となる施設の違いを考えて偏りを考える。
9	民間施設を利用する。
10	西荻南地域の区立施設が少ない。特に、西荻南区民集会所が西荻北に移った問題。
11	西荻窪駅付近に区民集会所を作って欲しい。計画はあるか。
12	施設の利用方法の違い。区民センターとゆうゆう館などそれぞれに意見を聞く。
13	施設は無いが代替のものを利用できる等、民間施設の利用。
14	地域ごとの偏りについては偏ってはダメなものはないか決めていくこと。
15	時勢に合ったニーズで施設を作りなおすべき。30年後、40年後。
16	他区の施設が利用できるように。
17	財源の問題。偏りの是正はできるのか。

その他	
1	提供できる情報を多方面で比較してほしい。杉並区のメリットを。
2	PDCA。利用者の意見を聞きながら。
3	今日のように実際の利用者の声が聞けることが重要。考える上で必要だと思う。
4	利用者はともかく、運営する側も検討が必要。ボランティア、高齢者の利用方法、働き方改革。
5	区の職員さん以外にボランティア（区民）も会議の議事録役がいてもよい（デジタルで）。
6	杉並区の情報公開を幅広い年齢層に連絡する方法を検討してほしい。
7	老朽化60年→80年。この先の10年ピーク。
8	地域づくり、ボランティアができる施設。
9	有料、無料の別。利用の仕方の別。使い方の意見も聞いて欲しい。
10	区をまたいだ施設の利用を。区境の住民にとって、隣の区のものの方が利用しやすいことも多い。
11	ゆうゆう館に若い人たちが来ないのはもったいない。
12	広報に計画素案が出ていても目を止めづらい。
車座での意見交換（希望者のみ）	
1	児童館やゆうゆう館といった施設は、近隣にあることが重要。介護をしながら子育てをしていたが、ほとんど社会とのつながりがない中で、児童館でできた交流が20年経った今も親子ともども続いている。このように児童館はコミュニティの大事な拠点となっていることを理解してほしい。
2	これからを考えていく中で、ゼロカーボンの視点が重要。最低限の修理・修繕でやっていかないと、カーボンハーフの目標は達成しえない。
3	計画のたたき台を作成するにあたり、これまでの検証が何より大切である。みんなが意見を言える場を作ってほしい。
4	児童館は、イベント等で保育園児～高校生までのつながりを持てた。児童館は杉並の宝であり、廃止したのも再編したのも元に戻してほしい。
5	児童館は単なる子どもの居場所ではない。大人にとってもコミュニティ形成の場になっている。
6	中学校の改築でプールは作らない方向という件についても、きちんと意見を聴いて決めてほしい。
7	あんさんぶるが廃止になったときは、計画が決まる前も決まった後も、周知が十分でなかった。今後はこのようなことがないようにしてほしい。
8	先ほど、上井草会議室の跡地は、現在、物品の置場になっているという話を聞いたが、この施設をどう使うといいと思うか、というアイデアを募集するのはどうか。ボランティアに場所を提供するのがいいと思う。
9	子ども・子育てプラザ善福寺を見学したが、広いプレイホールで親子が数組遊んでいただけだった。児童館では、午前中は乳幼児が、午後は小学生が利用できていた。子どもたちは児童館で縦の関係を学んでいた。杉並に児童館を作る運動を行い、50年かけて取り組んできたことが、児童館再編によって全てなくなった。
10	井荻学童クラブは、狭い場所で多くの子どもが過ごさなければならず、わずかにある園庭も近隣の関係で利用できない状況。
11	格差・貧困の問題が取りざたされているが、児童館では格差・貧困の問題も平等に受け入れてきた。井荻学童クラブのようなひどい学童クラブに子どもを預けず、高いお金を払って民間学童クラブに子どもを預ける人もいる。それができない家庭はひどい学童クラブに子どもを預けるしかない。児童館や児童館内学童クラブでは、子どもの成長にとって重要な豊かな体験活動を提供できていた。
12	西荻地域区民センターの談話コーナーで将棋をしていた人たちが、施設のリニューアルに伴い出来なくなってしまった。そこからゆうゆう西荻北館に移動したが、そこも今度はコミュニティふらっとになるという。どんどん行き場所がなくなってしまう。
13	高齢者は歩いて行ける距離に趣味の活動ができる場がないと、バスなどを乗り継いでいくことはできない。

14	施設を考える時に、児童館であれば児童福祉の視点、高齢者施設であれば高齢者福祉の視点で考えることが必要であり、それを行政も含めてどうやっていくかを考える必要がある。ハード面だけでなく、中身が大切である。
15	施設マネジメント担当で予算や老朽化のことだけを考慮して、施設の再編を進めるのではなく、関係課が今まで以上に関わって再編を進めていくべきだと思う。
16	このような意見交換会の場を設けていただいたことに感謝。今後も同様な会を設けてほしい。
17	今までの計画等は、区が意思決定したものを提示され、意見を求められるというプロセスで、区民もそれに慣れてしまっていた。区民自身ももっと自分たちが関わっていくというマインドになっていく必要がある。
18	子どもの施設も高齢者の施設も、自宅から近くにあることが重要。
19	桃三学童クラブも井荻学童クラブも100名を超える子どもがいると聞いた。学童クラブは家に帰宅するのと同じようにほっとできる場所であるべきだが、100人もいるとほっとできない。学校内にあった方がいい、という人もいるし、そうでない人もいる。どちらもあってよいと思うので、人数を少なくしてたくさん作った方がよい。
20	防災の視点では、地域のコミュニティがとても重要。これまで児童館が築いてきた地域のコミュニティが果たす役割が大きい。そのようなコミュニティを形成する小さな施設をたくさん作ってほしい。
21	区立施設再編整備計画（第1期）で計画されていなかった、西荻北児童館と善福寺児童館が再編されたことで、区に対してとても強い不信感を抱いている。
22	今後は、地域の課題が何か、の洗い出しから区民と一緒にやってもらいたい。また、計画決定のプロセスは、左から右に流れるようなフローではなく、PDCAサイクルのように、きちんと検証してその結果が次につながるようなプロセスにして、そこに区民が参画できる仕組みとしてほしい。
23	国からは児童館を拡大させる方針が出ている。
24	児童館については、その機能が継承されているかという検証をしていると思うが、機能は継承されていない。
25	これまでの問題点や課題など、具体的な事実をきちんと知らないと検証はできない。アリバイ作りのような検証ではいけない。
26	西荻南区民集会所は、西荻北に移ったが、それはただお知らせで知らされただけだった。これが区民の意見を聴かずに進めるという代表例である。
27	施設の地域格差という意味では、西荻南地域にはゆうゆう館も区民集会所もない。地域コミュニティの場がない。早急に作ってほしい。
28	施設だけではなく、道路の問題や駅前の開発問題等も住民の意見を聴きながら進めてもらいたい。
29	人口が減少していくという推計であったが、杉並区では人口は減少していない。統計についても見直していただきたい。
30	児童館は老朽化しているから、という理由だけで再編を進めるべきではない。
31	児童館は地域住民の憩いの場である。ただの集会施設ではない。廃止するな、とは言わないが、働く親の支援や保障をどのようにしていくのか考えてほしい。
32	善福寺児童館が子ども・子育てプラザになってから利用していない。
33	杉並の在住歴は短いですが、それでも1つの施設に対して思うことがたくさんある。長く住んでいる方にはもっとたくさんの思いがあるだろうに、その方々が区に対して不信感を抱いてしまっている現状は非常にもったいないと思う。
34	今までの計画決定のプロセスは何が良くなかったのか、これからはこうしていく、ということを見えなく見える化してほしい。計画の中のどこで区民の意見が反映されるのを見えなく見える化してほしい。また、こういうことを考えているという情報開示をするタイミングをもっと早めてほしい。

35	ここでは小さい施設がたくさん必要、という意見が出ているが、大きい複合施設の方が、一度に色々な用事を済ませることができて便利だ、という人もいる。様々あるニーズのうちから、何を拾うか、どこを落としどころとするのかを考える必要がある。
36	子ども・子育てプラザ善福寺で行われた意見交換会に参加したが、周知の期間が短く、参加したくてもできなかった方もいた。また、アンケートについても、実施の仕方の工夫が必要ではないか。
37	何事も区の周知が早ければ、もっと多様な区民の意見が反映されるのではないか。
38	上荻は、避難場所がアニメーションミュージアムだが、老朽化していて、震災の時にアニメーションミュージアムに避難して安全が確保されるのか不安である。
39	地域のことは地域の人がよく知っているので、地域の意見をよく聞いてほしい。例えば、少子化一つとっても、地域で実情は異なる。地域の課題を拾うところから地域が参画することを必要としている人がたくさんいる。
40	できない、やらないことを前提の計画を考えないでいただきたい。
41	施設は50年程度の耐用年数を前提と考えられることが多いが、ぜひ100年先を見据えて考えていただきたい。100年、200年先にも地域に根差して残る施設を作ってほしい。
42	夏祭りが盛んな地域は防災意識が高いという。そのようなイベントは、児童館のようなコミュニティが形成される場所が核になる。必要などころにはあえて施設を新設するということも考えてほしい。
43	100年先を見据えることも大切であるが、子どもは今が大事。ゆっくりと考えて積み上げていくことも大切であるが、スピード感も必要なことがある。優先度を考えて、すぐに対応すべきことと、時間をかけて対応することの判断をしてほしい。
44	施設は箱だけではなく、利用する人の視点に立って考えるべき。これまで施設を利用してきた人の経歴や思い等を無視してはならない。また、将来にわたって使用できる、今後杉並に入る若者も使用できる施設をつくるのが大事。
45	これまで進めてきた施設再編の課題を明確にし、区の方針を発表した後、もう一度このような意見交換の場を設けてほしい。
意見シートへの意見	
1	区が色々（住民参加型で企画・立案）と考えていることがわかり良かった。（単なるガス抜きかと思ったので）
2	様々な意見があるかとは思いますが、このように区民の声を対話できく機会を設けていただいたこと、大変感謝しております。区政の皆様本当にありがとうございます。区民と区政と手を取り合って今後もやっていけたらと思っています。
3	年代のちがった方の意見は新鮮でした。今後も年代的に広い意見がひろえる機会を作って下さい。
4	区立施設再編整備計画を教えてください。
5	本日は貴重な意見交換会に参加させて頂きありがとうございました。区民の意見をすべて取り入れること無理かと思いますが、よりよい対応をご検討ください。 今後もこのような意見交換に参加したいです。区の職員の皆様、お疲れ様でした。
6	この様な機会を設けて頂きありがとうございます。大変良い刺激になりました。
7	学童・児童館 質が低下という意見が多い。少子化と騒がれる昨今、それはあり得ない。予算の使い方を考えてほしい。 今日は話題にならなかったが、給食費無料化も必要だが、残飯がすごいとされています。これも時代に逆行。小学校教諭：あんなメニューじゃね と最近おっしゃってました。こういうことも一考願います。
8	今まで区民の意見を聞いてくれていない事がよく分かりました。 今後はもっと区民の声をきいてもらいたいです。
9	利用者の視点、ゼロカーボンの視点を入れた区の”区民の本当の幸せ”を考えたビジョンを示してください。

10	杉並区に在住して20年になりますが、住民の意見を聞いて、これから実現していくよう努力して下さるとの説明をしていただいたので、説明会など積極的に参加していこうと思いました。頑張ってください、期待しています。
11	8月シンポジウム、9月検証まとめ、令和6年を目途に～ の予定の進行が早すぎる。 残すことにかけては慎重に進めてほしい。老朽化しているものに関しては、新しい場所に設営しつつも、十分に検討が進んでいないものに関しては、復旧させる可能性も残しつつ、そのまま残し、話し合いを2、3年かけて進めるべきである。
12	立場上、“市民1人”は弱くなってしまう（権限の構造上）ので、今日の前半のように、急に進行を妨げられるような市民の意見が出てくることは、ある種健全だと思います。（出せる人がいることは大事） 一方で、目的・ゴールをクリアに設定し、それを達成できるような進行を事前に準備していたと思うので、それが崩れるのは区の職員さんや講師の方のこれまでの準備の時間がもったいない！となってしまいます。バランスを考えると、やはり今日の会議の趣旨をもう少しクリアにすることと、（最初にアナウンスすること。）今回の場合は、区立施設再編成のことについて、よく知っている方と、全然知らない方もいたと思うので、そのためにも、うっとおしいと思われるくらい説明をするといいいのかなと思いました。 アクシデントがありながらも、職員さん同士で話し合い、柔軟に臨機応変に対応されていて、すばらしいと思いました。 区民の意見に耳をかたむける、を実践しながら、PDCAをまわし、区民、職員さん、みなさんと一緒によりよい区を作っていけると良いですね。新しい時代を、多様な人々で作っていきましょう。今後ともよろしくおねがいいたします。 P.S. 区の公共施設、ぜひぜひ高断熱&太陽光パネル、再エネ切りかえおねがいします。
13	・子どもたち、大人たちの「ふるさと」になるように、今、ここにくらす人々のために考えて行動してほしい。 ・ふるさと納税が他に流れてしまうのは、やはり区の施策への不満があるのでは？と思います。 ・小中学校や高校でも同様のワークショップを何度もやって欲しい。学童や児童館についてこんなところになってほしいなどアイデアが出るはず。 ・実際の施設の面積は増えていると区議からきいた。コンパクト、複合化、大型化してしまうと弊害もあると感じる。 ・オンラインで意見を出し合ったり、コンペしたり、広場で自由に語り合うなど、参加者を事前に決めないで自由に語り合う場を設定してもよいのでは。 ・とにかく今、問題になっている、行けない、すぞす場がないという子ども達がいるので、その子ども達を救ってほしいです。支援が必要な子たちがいます。ふえてます。 ・100年先を見越した施策作りも大切にしたいです。
14	<行政のあり方として>計画決定のプロセスにあった通り、行政が決めた「計画」を「決まったことだから」と進めるやり方はやめて下さい。まず、私たち区民の声があり、その声をいかにして実現していくか、職員の皆さんに考えていただき、この順番です。この逆ではありません。 <アンケート>設問の仕方が恣意的に感じられました。また、検証の最中であるにも関わらず結果を公表しているのは適切ではないのでは。 <人口・税収>増えていますよね。減る一方、とスタートするのは誘導に感じます。 <専門家>杉並に詳しい、もっと適任の方がいるのでは。 <サードプレイスの重要性>国ですら言っていることです。杉並、頑張りましょう。 <意見交換会>区が強引に進めてきたことははっきりと「失敗だった」とした上でスタートしないと、今日のような状況が続くと思います。

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（井草）

開催日時：令和5年7月11日 午後6時～午後8時30分

場所：井草地域区民センター 第1・2集会室

参加者（区民）：16名

意見	
区の説明を受けての疑問・感想（「もやもや解消タイム」：グループでの質疑・感想等）	
1	<p>児童館に関心がある。予算には限りがあるので、複合的な施設は良いと思う。子どもの権利条例のこともあり、子どもの居場所のことが気になっている。例えば学童がどうなるのか、中学がどうなるのか。</p> <p><区回答></p> <p>令和6年度に向けて子どもの居場所を検証する。子どもの居場所にも児童館、子ども食堂など色々あり、あるいは地域にそうした活動をしている人もいる。そのような中でどのような場所が良いか考えていかなければいけない。子どもの権利条例づくり、そうしたことを考える上での物差しとしていく考えである。</p>
2	<p>区内に子ども食堂は39件あるが、1件1件全然違う。それぞれ見ると、この地域はこんなことをやっているなどの気付きがある。フリートークでやると、色々な考えや気付きが出てくる。</p>
3	<p>子どもの居場所（預かり施設）を充実させたい。杉並第九小学校のエリアでは児童館が廃止され、子どもの居場所がなくなっている。意見を言えば手当てしてもらえるものなのか。</p> <p><区回答></p> <p>意見を聞きながら進めていく考えとはいえ、何でもできるわけではない。高齢者、子どもなど、ニーズをつかみながら必要なものを作っていく。</p>
4	<p>現状を見てどうしようと思うかだと思う。地域の人たちは手弁当で対応している。児童館の職員だった人も動いてくれている。この地域に必要なことを立ち上げて実現できれば良いと考えている。</p> <p>これまでの意見交換会に参加した方からは、あまり言いたいことが言えないと聞いていて心配している。最後の共有の場は良いやり方だと思う。</p>
5	<p>区がこういうふうに変えようと思ったきっかけは何か。施設の検討は所管ではなく施設マネジメント担当の方で作っているのか。</p> <p><区回答></p> <p>区だけで計画を策定していても、区民の方に話を聞くと計画策定時に見えていなかった情報等があった。そういった情報を事前に知った上での計画策定が必要であると考えている。これまでの計画づくりに当たっては、それぞれの所管も考え、施設マネジメント担当はその手伝いをするというスタンスである。</p>
6	<p>役所が作っている計画に興味を持って見ている。これまでの計画では「この施設がこうなる」と「この施設」が主語になっているが、高齢の自分の親に言わせると、「私が」どうなるの、と聞かれる。施設を利用する人、利用したい人がどうしたら良いかという発想が必要。子どもの居場所は「子ども」が主語。ユーザーに響くような伝え方がされていない。「私はこうしたい」だからこういう施設が欲しいにつながる。誰が何をしたい、だからこうなる、の順番で伝えないと伝わらない。</p> <p>利用しているものが減ることの評価はどうか。減らすと決めたものが無くなると良いのであれば、全て無くなることが良いとなるが、増やす必要があるものは増やすべきである。</p> <p>他の地域の方の意見を聞くと、新たな気づきもある。</p>

	<p>ゆうゆう館などの場が増えたとしても、いい事業や運営をするスタッフがいないと人が集まらない。ニーズに対応できる人が必要。</p>
7	<p><区回答> 杉並区の地域には色々な人材がいる。そうした方にもご協力いただきながら、区としてやるべきことをしっかり実行していく考えである。</p>
8	<p>「限られた財源」となっているが、情報開示が不十分ではないか。計画は8年前、この時はもっと減る見込みだったが実際はそうになっていない。適切なデータをきちんとすべて見せて説明して、根本から見直してほしい。</p> <p>天沼の地域説明会に2回でたが、説明資料がなんら変わっていない。「設計は変わらない」という話で、まだできていない施設に対して、ランニングコストが85%と資料に書いてあった。明確な説明になっていない。</p>
9	<p>今までは決まったことを説明する会、今もそういう印象。</p> <p>データの出し方や話し合いの仕方は考えたほうがいい。</p> <p>「施設統合」のことはそばで見えてきたので、よくわかっているが、結局延べ面積が増えてしまっているとランニングコストはかかる。ごまかしてしまうと財政も圧迫してしまう。杉並区は中途半端。どっちも不幸。</p> <p>今まで決めたことを止めることは、工事が始まる前であれば可能なはず。50年のスパンでことを考えれば、ランニングコストはものすごい金額。いまの出費は微々たるもの。</p> <p>他の自治体で無作為抽出されたメンバーで何度も課題を議論して話し合いをして互いに納得できた。今日みたいな会議も同じメンバーで何度もすることで、自分の考えを整理した意見が大切。</p>
10	<p>今再編が行われていることはどこまで？どこが止まって？どこが進む？のか、わからない。</p> <p>現状認識がすでにずれてしまっている。東原児童館の再編にあたり、当初の説明では学校の空き教室で～と言っていたのに実際は違う。キツキツになっている。学童も待機がでている。そういうことをきちんと説明しないで話を進めるのは片手落ち。前提から見直して欲しい。</p> <p>延べ面積を減らすということは民営化したいということ？</p> <p>統合がいい人とそうでない人がいる。</p>
11	<p>今回対話してくれるというのはどういうレベルまで対話してくれるのか。</p> <p>保育の緊急事態だったり、コロナだったり想定していないことが起こったので計画どおりになっていないことは理解できるが、今までは「こうなりました」という説明会だった。みんなで作ることが楽しい、みんながこうなって欲しいというのをみんなで作り上げて、誰が区長になっても変わらず実現するようにしていきたい。</p> <p>今のものは今のままでいいのか？みんなで作えなくては。</p>
12	<p>施設再編計画の説明会で、改築コストがかかるため、児童館を廃止し、機能はそのままに学童クラブを吸収する話が出ていた。建物の老朽化は建てる際に見越せているはずだが、積立金をしていただけ。また、した上で足りないということなのか。</p>
13	<p>数字を使っただけの説明がわからない。マップ上でどこにどのような施設があるのか示してほしい。</p>
14	<p>説明していても届いていないのは、周知の方法に問題があると思う。周知用のチラシの発行部数が足りないなど。</p>
15	<p>建て替わりにプレハブを用いるのはコストの無駄が出る。財政面で資金が不足している点については、やり方に課題があるのではないと思う。</p>
16	<p>一度作った建物を長期間に渡って使えるようにしていくことが重要だと思う。</p>
17	<p>学童クラブや学校が統合されると不便になる。基本的に現地改築をイメージしてしまう。人口増と税収増を背景としている中、財政が厳しいというのがわからない。</p>
18	<p>現地改築はあまりよくない。</p>

19	<p>経済合理性だけで、福祉施設を減らすことは選択肢としては無いと思う。民間ではできないことに、行政が重きを置いて取り組むべきではないかと思う。地域住民や地域団体の自主性に任せられるところは任せ、本当に必要なところに注力して欲しい。そうすることで行政側も効率的に動くことができるのではないかと。</p> <p>また、行政と住民の信頼関係の構築において、組織体制を見直し、各部署の区職員の横の繋がりを構築し、住民への説明などに当たってほしい。</p>
20	<p>大学で住居学科に在籍しており、子どもの施設について勉強している。ゆう杉並に見学に行ったが、中高校生が多くいてにぎわっていた。古い施設ではあるが、もっと多くの人に利用してもらい、アクティブな施設になればよいと思う。距離が遠い人もいると思うので、良い意味で分散すればよい。この会についてはツイッターで知った。杉四小跡地が科学館になるという計画が気になっている。杉並がサステナブルな街になると良い。</p>
21	<p>ずっと杉並区に住んでいる。児童館があった時代は楽しかった。東原児童館がコミュニティふらっとになってからは、子どもは休みの日でも児童館に行かなくなった。子どもが施設を利用する場合でも利用料がかかる上に、大人の付き添いが必要というが、そのような時間がある大人はいない。</p> <p>検証や今回の意見交換会には、「民営化」の見直しという点が抜けていると思う。児童館などは、公的な施設だから子どもでもお金を使わず、安心して利用することができる。区長も「施設の運営は公（おおやけ）」という考え方であろう。</p> <p>学童の機能が小学校の中に移ったことで、活動に制限を受けるようになった。低学年は、高学年が授業をしている間、校庭で遊ぶことができない。区は当初児童館のときと同じように活動できると言っていたが、そこに嘘があった。</p> <p>道路、空き地、木登りなど、昔はどこでも遊ぶ場所があった。子どもの安全面を考えたことではあるが、それらが全てなくなり、遊ぶ場所が少なくなっている。</p> <p>検証で行ったアンケートのやり方に疑問がある。今使っている人だけでなく、使わなくなった人の意見を聞くことが大切である。</p>
22	<p>区長が変わったのだから、今後に期待したい。</p> <p>区民の意見を聞くというのは良いことだと思うが、全ての区民に同じように意見を発信する機会が与えられるのかは気になる。</p> <p>前あったものよりも良いものをつくるのであれば、多くの人は納得するだろう。</p> <p>この間、杉並区は保育園を多く整備してきたが、ただ数だけが増えた印象。</p> <p>老朽化が問題と言われているが、今は技術が進歩しているため、修繕することで施設を使い続けることができる。建て替えよりも修繕の方がゼロカーボンの視点からよい。</p>
23	<p>施設のスリム化、複合化というのが施設再編整備計画の考え方だったと思うが、それが大きく変わるということか。再編自体は必要なことであると思うが、今までの複合化にはワクワク感がなかった。今後の進め方の方針である「区民の声をきく」ということが実現できるのであれば嬉しい。</p> <p>施設再編を進める理由として、「予算の削減」「老朽化」など、ネガティブなものばかり挙げるのではなく、「子どもを増やすため」など、ポジティブな目標があると良いのではないかと。</p> <p>ゆう杉並はすばらしい施設。ゆう杉並のような施設が7地域にあるとよい。</p> <p>親としてもあまり遊びを経験できていなかったため、子どもに教えることもできない。児童館では異世代交流をして遊ぶことができていた。高齢者と一緒に遊びを経験する機会があると良い。</p> <p>民営化が多くなったが、それは区として、人材を手放しているということだと思う。直営職員のノウハウが流出していることになるので、もったいないことだ。</p> <p>区の施設は、知らないうちに変わっていることが多くて困る。</p> <p>杉並の近くでつくられた建材で区の施設をつくるのはどうか。</p>

個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
①区を進める考え方について	
1	施設からではなく人から施設を考える。
2	子どもがどうしたい、利用者がどうしたいから考える。
3	区は、ここが揺るがないという部分は先にしっかり示す。
4	絶対条件を示した上で、どう思うかをまず聞く。その上で、皆さんが使いやすくするためにはどうするか聞く。
5	サービスというと受け身にとらえられるが、そうではない。変えていかないとまちづくりがうまくできない。
6	今、進めている再編も止めて見直した方が、50年単位で見ると財政上も効果が発揮できる。
7	区民の意見を聞くには聞く覚悟が必要です。ありますか。住民とフラットな関係を作れるか。
8	信頼の土台作り。
9	財源、人口統計（世代構成なども）の資料を地域ごと（学区単位）に開示して欲しい。計画の根幹となる資料開示を。
10	第1期ですすでに課題が出ている。数値化などで明確にしてほしい。
11	整備計画の前提から見直した方が良い。
12	「統合してほしい」が地域の声だったらどうするの？
13	基本的に賛成。
14	区の方向性がある程度示されている方が考えやすい。
15	ゆうゆう館はこうする、児童館は増やすなど、大きな方向性を示してほしい。
16	今までのやり方がおかしかった。
17	賛成よりです。今後次第だと思います。
18	区民との対話がうまくいくのか気になる。
19	ワクワクする施設づくり長寿命化。子育てしたい。住みたい。
20	民営化と「公」のちがいの視点がない。
21	「公共」の重要性の徹底。
22	長期的なビジョン。健全なコミュニティ。
23	これからの進め方のイメージはいい。区民との対話の姿勢は賛成。
24	財政状況が厳しい、人口が減ると言い過ぎ。杉並区の場合、人口がどんどん増えている（新築多い）。税収も積立金（基金）も増えている。
25	財政状況が分かりづらい。実感とかけ離れている。
26	地域・駅単位でエリアを区切って行政体制として組んでほしい。
27	オープン性・透明性のあるプロセス・情報を提供。
28	地域の課題について、各地域で話し合いの場を作っていく。
29	周知方法に課題あり。
②③④どんな人と・どんな手段で・どんな方法で	
1	人に着目した地域区分があると良い。
2	区割りという線引きがない方が良い。
3	子どもからすれば、ちがう小学校のエリアの施設には行きづらい。
4	家庭を基準に考えずに、個人を基準にしてほしい。
5	色々なことを利用者に主体的に考えてもらう。それによって、他のユーザーにも心配りができる。
6	利用者が少ないからなくすという発想はいかがか。
7	利用数が少なくてなくすなら、そのロジック、考え方をしっかり伝える。
8	区民もただ反対ではなく、どうしたら良いかを一緒に考える。
9	役所用語で分かりにくいようではダメ。

10	施設以外にも活用できる資源を探してみることも必要（民間も含めて）。
11	自分たちがどうしたいかしっかり出してもらう。
12	意見を言いにくい人々の意見をどうするかから考えることが大切。
13	施設を利用していない層からの意見を。なぜ利用しないかの理由をアンケート調査。
14	すでにある会議体を活用する。いつも同じメンバーで内容も同じ会議が多い。
15	WEB会議
16	区民からの提案を募る。
17	中高生含め若者世代、独身世代、高齢者など、全世代からの意見を求めて（ネット活用も含め）。
18	対話の機会。多世代で、同世代で複数回。
19	児童館、学童をかつて利用していたが、今は利用していない子ども、保護者。
20	「運営者の人」と「利用者」との顔が見える関係には適正規模がある。
21	そもそも施設のプログラムを見直す方が良いので、多世代は必須。
22	現場の職員から率直な意見の収集を。
23	そこで働く人との検討はどうしても必要。もしすべて民営化とすると区職員人材は非常にまずくなる意見に賛成。
24	学区単位（人口統計）。
25	今までは「新しい箱」がきた、という印象。場所だけでなく、中身も伴っていることが大切。
26	自由な発想で「何が必要か」を「全世代」にきくことから始めてほしい。
27	関係する施設→当事者
28	給食も地産地消。井草の地域は畑も多い。
29	アンケートだけもらうのではなく、イメージ図があるとよい。そちらの方が答えやすい。
30	すくにくい意見はワークショップなどで聞けばよいのでは？素直な意見がきけそう。
31	学校の授業の中で「理想のまちは？」というテーマで意見を出し合うと新しい意見がでそう。
32	地産地消。区の中で産業をつくる発想は希望。
33	周知の仕方を1つにしぼらない。色々な方法で、色々な意見をすくいあげる。
34	どのような人：小学生～80代くらいの人 人数：6人～10人くらい。多いと意見をひろえない。
35	若い世代（子ども、学生）の意見を聞ける方法を。
36	理想の街づくり、施設づくり、総合の授業、ワークショップ
37	だれにでもオープンな周知を。障害のある方にも、ネット世代にも。
38	利用者の視点。全員の意見はきき切れないかもしれない。アットホームの方が意見を言いやすいのでは。
39	可能な限り多様な方法で、直の対話はメイン。
40	民間を連携して多世代の声を効率的に集める。
41	Forms、紙媒体、対面方式 ex) レシートの裏にQRコード→回答→割引
42	地域の課題は、地域住民と十分に話しあい、計画に反映させて欲しい。
43	点ではなく面で考えてほしい。
44	行政組織を縦割り→チーム制。
45	数字ではなく地図で考えてほしい。
46	改築はたまつきではなく、現地改築を望みます。
47	コンポジットチーム。エリアごと。
48	支援が必要な人を重視しながら、自助できる人は、その地域の自主性を活かし、行政としてバックアップが必要なところに注力してほしい。
49	縦割だけでなく、横（地域別）のチーム分け、さらにそこからのフィードバックで、施設整備を考えるよう。

50	福祉施設に関しては、行政が総量を減らして欲しくない。
51	現地改築を基本。
52	地域別に、他施設も含めて統廃合を行い、整備してはどうか。コスト削減。
53	経済活性化だけでなく、繋がり自体が重要で、それを作る施設の存在意義を考えて整備して。
54	行政も多様な部署の人を集めて、検討を進めて欲しい。
⑤意見がまとまらない場合の対応	
1	話し合いでプラザの中に中高生の活動場所を残すことができた。話し合いが大事。
2	決めるまでに納得できるまで話し合えるようにしてほしい。
3	ある程度意見を踏まえて2～3案まとめて、コストなどを考えて区が決める。
4	どこか皆で痛みわけできる話し合い。コミュニティーが厚くなる。
5	学区単位（利用者が通える範囲）。
6	賛成、反対の両方の意見を詳しく聴いて、区民一人ひとりが自分の考えを。
7	整理、考え直せるスケジュール（複数回）（同じ人が参加して）行って、はじめて合意ができる。この手法は、相模女子大の某教授（15年前くらい）の実績あり（確か、海外の手法を日本に当てはめたもの）。
8	そもそも意見がまとまるのか？
9	区民の人からメリット・デメリットを発言してもらおう。
10	プレゼンして頂くとか（魅力、メリット・デメリット）
11	消去法。
12	時間はかかる民主制。
13	最低限のラインを共有して整備していくと良い。加算式だと意見がまとまらない。
⑥地域間での施設の有無（偏り）について	
1	必要な施設がなくなるような偏りはダメ。
2	人に着目して必要な機能がそろっていれば良い。
3	一歩行けば他区にあるなら偏りもありえる。
4	使う人の状況に応じて偏りが出ることは許容される。偏りではない。
5	おらがまちを自慢できればよい。
6	その地域になくても近隣にあれば。
7	地区によって変わるので、現在の区域にこだわらない。
8	出張（児童館、ゆう杉、ゆうゆう館、プラザ）
9	人とモノの派遣。施設としての偏りはあってもいいが、サービスとしては平等に受けられるように。
10	あそぶ場所が少ない。野球をするにも他区に行っている。
11	児童館どこでもいけるようになるとよい（学区にしばられずに）。
12	複合化のもとに施設が減って不便になるのは困る。
その他	
1	人の顔がみえる関係づくり。
2	人＝居場所
3	それぞれが担い手（サービスの受け手でなく）。
4	アンケート、今回のように結果ありきのアンケートはやめてほしい。
5	北公園事務所を井草ゴミ集積所に。
6	井草ゴミ集積所の有効活用。
7	児童館はこれ以上は廃止しないで欲しい（各学区に1館）。
8	ゆうゆう館は複合化ではなく、単独で高齢者専門の施設にして欲しい。
9	ゆうゆう館が保育園の2階にあって長いスロープになっている。出来れば単独（or 1階にして欲しい）。

10	今までのゆうゆう館は、憩い・健康づくり・生きがい学び要素があったが、コミュニティふらっとは貸会議室のよう。
全体共有	
1	<p>区民の意見を聞いてもらえる場ができたことが嬉しい。たくさん意見を聞くことができた。ここは譲れないという区の基準や最低条件を示しつつ、区民もここは譲れないという部分を出し合って、何が必要かを考えていければよい。</p> <p>子どもがおり、児童館のこともあって今日は意見交換会に参加した。安心して遊べる場所ができると良いと思っている。</p>
2	<p>色々な意見が出てきていると思った。キックオフ・ミーティングにも参加しており、そちらでは話しづらかったが、職員と同じテーブルで本質を語ることで良かった。</p> <p>子どもの権利条例をメジャーな考え方として策定し、今後の子どもへの施策の物差しとして使われると聞いたので期待している。</p>
3	<p>自分は和田に住んでいるが、住んでいる場所が異なる人と意見交換をすることができて良かった。普段からこういう会があると良い。施設がどうなるというより、こういう人がこうしたいから施設がこうなるという考え方で進められると良い。</p>
4	<p>人から施設を作っていくことを再認識できたのが良かった。まちづくりとは、待っているだけではなく、欲しい人が集まって作り上げていくものと思う。</p> <p>今日の中では、意見が合わないときにどうするかテーマが難しかった。全員の意見が叶うことはないが、「最低限これは」という部分を話し合いの中で落とし込み、実現できたら良い。</p>
5	<p>このような場を設けてもらえて本当に良かった。</p> <p>職員から話をしてもらい、直接聞いた。これまで訴えてきたこともきちんと反映してくれていることもわかって良かった。</p> <p>この班では地域ごとでいいんじゃないか、特色ある地域を自慢できる地域にというのが印象的。施設再編に詳しい方の話も聞いて面白かった。</p>
6	<p>色々な人の話を聞くだけでなく、反対の意見・賛成の意見両方のちゃんとしたデータを示して聞いて、初めて次のステップ。</p> <p>住民だけで話すのではだめ。職員も同じ立場フラットな立場で話ができることが大切。</p> <p>今のやり方を見直して、自分の意見をきちんと整理してみんなが納得できるようにできるといい。</p>
7	<p>色々な話ができ、まちかどで話をできるようになるといい。</p> <p>児童館がなくなるときのストーリーが共有されていなかった。共有することが大切。</p> <p>そもそものストーリーの前提が変わっているので、改めて共有。</p>
8	<p>楽しかった。区の人とフラットに話が出来た。一緒に杉並区を作っていく仲間。</p> <p>器、箱物をどう使っていくか、それぞれの役割をつなぎ合わせていく。</p>
9	<p>自分の班では、児童館に思い入れのある方、杉並区に長く住んでいる方、そうでない方、色々な人が集まっていた。自分はまだ大学生なので、世代が上の人と話ができて面白かった。</p>
10	<p>民間と公という区別が、区の全体の考え方から抜けていると思った。グループトークの中で、区の施設が民営化することは公の職員のスキルがなくなること、という話をきいて、もったいないことだと思った。</p> <p>また、グループトークの中で出た、これまでの施設の良いところを新しい施設に残すという考え方が良かった。</p> <p>区政が変わってきていると思った。区民の望む区政になると良いと思う。</p>

11	<p>自分は施設を利用していない方であるが、意見交換をする中で新鮮な気付きが多くあった。科学館が好きで昔はよく通っており、内容も建築的にも魅力的で、なくなったときは悲しかったことを思い出した。</p> <p>カーボンニュートラルの観点から、今後はすぐに建て替えをするのではなく、古い建物を生かすことが大切。</p> <p>みんなが欲しているサービスを実現するためにどうすればいいか、という視点で今後の施設再編を考えられると良い。</p>
12	<p>今まで出席した意見交換会と異なり、ポジティブな意見を多く聞くことができた。是非ワクワクする施設づくりをするという方向に舵をきってほしい。</p> <p>施設は、なくなってから気が付くことがたくさんある。「なくなる以前はできたこと」に対するフォローをしてほしい。多世代で、みんなが使える施設ができるとよい。</p>
13	<p>今回の意見交換会を通して、行政が住民の自主性を信じて任せ、行政から住民に対してはわかりやすい説明を重ねていくことで、行政と住民の信頼関係を見直すことに繋がるのではないかと思った。また、行政の組織体制が縦割りだけでなく、横の繋がりができように見直せると良いと思った。</p>
14	<p>各年代の意見を聞くことができるのは40代だと思っている。それは、家族に子どもや親世代がいる環境であるからだ。こうした世代が中心となってコミュニティを作っていけば良いのではないかと、という新しい発想を得た。</p>
15	<p>東原児童館なども機能は変わらずに移転したということだが、本天沼集会所もなくなるということなので、その後の検証をして欲しい。</p>
16	<p>人口増加・税収増加といわれる中、区財政が厳しい状況とは思えない。ゆうゆう館は減らされると困る。</p>
<p>未来へつなぐ公共施設のカタチ</p>	
1	<p>施設から見るのではなく「人」から見る見方は大切ですね。対話は大事な人としての営みだと思います。</p>
2	<p>公共施設ってカタチから考えるんじゃなくて、みんながこうしたいって思っていることをなんとかしたら、その結果カタチになるんでしょうかね。</p>
3	<p>区が提供する、民が提供するという枠にとらわれず、どのような機能があったら区民が嬉しいかを考えて、機能を決めて、その後に見合った施設を整備していくといいと思いました。そのために、区民側も、もっと真剣にこの課題に向き合う必要があると思いました。</p>
4	<p>カタチではなくて色かも？地域によって必要なことは色々。</p>
5	<p>フレキシブルに使えるといいなあ。</p>
6	<p>アメーバの様に自由に姿を変えられる柔らかい入れ物。</p>
7	<p>子どもの成長にあそびの大事さを。大人、高齢者にも自由と充実を。</p>
8	<p>環境を重視する杉並だからこそ、建て替え、取り壊しの環境負荷にケアした施設作りをしてほしい。</p>
9	<p>杉並区すべての人々が「住みつづけられるまち」を。持続可能な建物、まちづくりを体現してほしいです。</p>
10	<p>文字通りふらっと集うために、イベントや本当に過ごしやすい場（ソファやコーヒー）があふれるワクワクした場所。</p>
11	<p>地域にみどりを。</p>
<p>意見シートへの意見</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・今のままでは欲求が不満な所があります。 ・同じメンバーであと2回話し合って（データといろいろな意見を聴き合って） ・自分の考えを整理し、見直すステップをつくってほしいです。

2	<p>ハコモノの施設ではなく、例えば「10才・5年生の小学生がどんな放課後を過ごす？」というストーリーから、ハコだけじゃなく、児童館職員を派遣したり、他には、古民家を多世代で集えるスペースにして、人やイベントの企画をしたり。今ある施設だけじゃなく、民間施設、空き家活用など。ハコだけあっても人は集まらないので、定期イベントと人をつなぐ専門の人（の様な人）が必要です。大前提として、「計画の前提が変わっていること」をきちんと見た上で、どう計画するかを考えてほしいです。</p> <p>一緒に考えていきましょう。これからの杉並区に、とても期待しています。ありがとうございました。</p>
3	<p>これからも意見を交換する場を設けて、続けてください。その意見が反映された施設ができればうれしいです。本天沼地域でも開いてください。</p>
4	<p>今日は多種多様な意見を聴けて有意義でした。配られたアンケート結果はふれられませんでした。が、財政難の中での工夫した計画、施設のあり方に賛成か反対かを聞いているが、複合化のデメリットや不便性などあることを問はず、賛成ばかりが多くなっている。アンフェアである。誘導じん間である。</p>
5	<p>区の課題、地域の課題、地域作りをするには自分事として考えることができる現状（事実）を知ることが大切。立場は各々違うように、意見も見えている風景は違う。だけど地域が叶えたいビジョン（将来像）が共有できたら、日々が楽しくなるのでは。</p>
6	<p>区の職員さんとフラットに話せるようになったことがうれしいです。こういう話し合い、対話が日常になると杉並はよくなること確実。</p>
7	<p>めちゃくちゃ緊張しましたが、グループに居らっしゃった企画課の方をはじめ、多世代の方と意見交換をできてうれしかったし、たのしかったです。自分自身、人前に出ることや発言することは得意ではないのですが、アットホームな雰囲気がおはなしできて良い経験になりました。</p> <p>将来、まちづくり系の仕事がしたいので、日本のよい「住みつづけられるまちづくり」を行えるように、貢献できるようにもっと学びたいと感じました。</p> <p>企画をして下さり有難うございました。</p>

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（高円寺）

開催日時：令和5年7月14日 午後6時～午後8時30分

場所：高円寺学園 多目的・ランチルーム

参加者（区民）：23名

	意見
	区・学識経験者の説明を受けての疑問・感想（「もやもや解消タイム」：グループでの質疑・感想等）
1	区の施設を全く利用していないので、分からないが、今日いろいろと聞いてみたい。
2	いろいろな人の意見を聴くことは賛成だが、施設の老朽化は進んでおり、対応する期限があると思う。意見がまとまらない場合はどうするのかと思う。
3	一言で区の施設といってもいろいろな施設がある。自分の生活そのもの。 施設を増やすのではなく、統合していく方針だったと思うが、家の近くにあるから行けたのに、集約されたことで行けなくなることもある。利便性が大事。 しかし、全員がいいというように作るのは難しい。効率性を優先すると難しいのではないか。 利用者の心理面も十分に考慮し、慎重に進めてほしい。
4	統廃合するにしても施設の特性を踏まえて考えるべき。近くなければならぬものもある。 施設を整備するにあたって、全て区の予算を使うのではなく、PFIなどの手法を使い、民間資金を入れるなど、柔軟な発想が必要では。 また、区立施設の使用料は無料ではなく、将来の財政負担を減らすためにも適正な受益者負担を求めべきである。
5	最初から「公共施設」という想定だと話が大きくなるため、自分の家（モノ）だと思って、自分が作りたいもの、楽しいと思う機能などを考えるのがよいのでは。自分が楽しいと思えるものは、地域の方も楽しいと思う。
6	高齢者しか使えない施設では、実質、昼間しか使われずもったいない。 区職員で、区内在住者が少ない。希望としては、半分くらいの方には住んでもらいたい。 現場主義で、区民と接触する機会を積極的に持って欲しい。
7	トイレが和式であったがようやく洋式に変わる。
8	今回、区長が変わったから検証をするのか。今後、区長が変わったらまた検証なのか。 阿波踊りは区の支援がないとできない。区がまちを良くしていこう、という姿勢は伝わってくる。
9	ゆうゆう高円寺北館に通っている。ゆうゆう館が遠くなってしまうと活動ができなくなる。老朽化していたら、修繕等に対応してほしい。ゆうゆう館が無くなるのが心配である。 町会会館が地域密着型の施設として各々1つあればよい。 これからは高齢者が増えていく。子どもを優先するのはわかるが、生きているときはみんなの世話にならないように生きている。そのための活動場所を確保することは大事だ。
10	学童や放課後の居場所など課題があると思うが、どのように再編されるのかがわからない。 梅里から堀ノ内の方にゆうゆう館が移転したことがあるが、その際、移動してしまっただけで行くことができないという声を聞いた。仮設のときに場所が変わるのは仕方がないが、楽しみにしてきた人が、改築で来ることができなくなってしまうのはいかがか。

11	杉並は狭いので高さを挙げてエレベーターを設置するなど、利用者目線で建物を考える必要がある。階段があると高齢者は上れない。また、今後、使われ方が変わることを見越した建物を整備するべきだと思う。 ゆうゆう館には、私物を置く場所がない。大きいものは持っていくことができない。利用者目線で施設を考えるとどうすべきかわかると思う。
12	杉八がなくなり、現在の図書館をどうするのか。以前遺跡があったので、調査をするのか。
13	区の施設を利用した記憶がない。全体像として、どんな施設があるのかわからない。たたき台をどうしようとしているのか教えてほしい。今後利用するかもしれないので。
14	たたき台の前に、ニーズの調査をしているのか。聞かないで作ったらぐちゃぐちゃになってしまう。どんなニーズがあるのか把握しているのか。たたき台を決める時には、考え方を一定程度決めてはいるはず。
15	これまでは計画案を出されてそのまま決まっていた。こうした話し合いは今までなかったので、しっかり進めて欲しい。
16	阿佐谷地域区民センターが新しくなったが、けやきプールはなくなった。民間ではなく身近なところがいいというニーズはある。一方で、夏以外は寝かしているプール等の施設は、フットサルコートとして使用するなど、多目的に使えないものか。 杉八も体育館のみで、とりあえず塩漬けの状態。今後の展開を見ている段階なのか。
17	体育館のみで非常時の逃げ場がない。杉八の使い方を早く決めてほしい。
18	意見交換会に初めて参加するが、公共施設という概念が若干わからない。話の中ではゆうゆう館しか出てこなく、ゆうゆう館しかないように思えた。
19	堤先生の話聞いて、「財務」「支出」「供給」という三本柱があるとのことだが、区の説明の中では「ニーズ」という視点に立っている。 今後区が新たなニーズをどう捉えていくかが大事になってくる。区の姿勢が、区民から聞くことが大事だと変わってきたように思える。
20	区の方針がしっかりできていない。50年、100年後のことをもっと考えないといけない。
21	次世代にバトンを渡すことが必要というところに行きついたのでないか。
22	高円寺に「八戸ブックセンター」のようなものができると困るのではないか。小さい店舗は立ち行かなくなってしまう。
23	これまでのセシオンはゆったりと座れる談話コーナーがあり、将棋盤等も完備されていた。 8月1日にリニューアルするが、ラウンジは硬い椅子となっていた。 理由を尋ねると改修に伴い常連ばかりが利用していることのないようにしたいとの説明だった。コミュニティふらっとに替わることで、利用者も多岐にわたることになる。どうなっていくか。
24	ゆうゆう高円寺南館について、1階部分が保育園であるため、園児たちと様々な交流がある。(例：七夕、ひな祭り等のイベントで一緒に歌う、お遊戯等の交流あり。) 核家族の時代において大事な交流であり、1階が保育園、2階がゆうゆう館の現状がベストな体制である。 ゆうゆう高円寺南館が杉八小跡地に移転することについて、自宅から遠くなる上、坂道が厳しい。利用する人も少なくなるだろう。その点、現在のゆうゆう館はアクセスが良いため、このまま残すべきである。
25	ゆうゆう高円寺南館が杉八小跡地に移転することについて、施設が古い、新しいということより通いやすいことが何より重要である。アクセスが悪くなり、足が悪い人には通うことが厳しい。 国の方針としても、高齢者より若い世代を中心に考えている気がする。理解はするが、高齢者も大事にしてほしい。 ゆうゆう館利用者の年齢層と職員の年齢層の違いにより、理解してもらえていないところがあるのではないか。

個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
①区を進める考え方について	
1	この方式を全ての建物に適用できるか。緊急性で判断すべき。
2	建設的な意見を出し合う長期的な視点が大切。
3	住民が一番困っている問題に力を入れてほしい。
4	声が届きにくい人の意見を拾うことができる仕組みを。
5	世代に合わせた情報発信。
6	時間があるときは皆で相談。緊急性があるときは区が決める。
7	意見が100%通るとは思わないが、なるべく思いを受けとめてほしい。
8	今日のような機会を設けてほしい。時間もかかるが、
9	行政が逃げているように見える。自信をもってほしい。
10	地域へ行政からきちんとフィードバックしてもらえればそれでよい。
11	地図だけでなく、実際見に行ってみる。
12	利用者目線で施設を考える。
13	施設の休館中の対応をどうする。
14	応用がきく施設にする。
15	代替施設でも場所が変わってしまう。
16	100歳まで利用できる施設。
17	高齢者にやさしい施設。
18	ハードありき。老朽化だけではない。
19	ソフト、ニーズの把握（使う人のイメージがある？）。
20	コミュニティふらっとを作る理由が伝わっていない。利用していない人には伝わらない。教えて欲しい。
21	まちづくりは行政でなく、住民全体（その後押しを行政に）。
22	広報は折り込みでなくポスティング。
23	情報発信をいろいろなルートで。自治会、新聞、ネット、SNS。
24	はじめから区の方針は決まっている。計画段階から区民の声を。
25	区民の声が反映されるようにしてほしい。
26	計画のスパンは10年が良いのでは。
27	基本方針をまず決めた方が。
28	分析の切り口を出していく方法。
29	区から発信するメッセージを明確に。
30	（今よりも）長いスパンでのビジョンを持った方がいい。
31	分析・課題の抽出を明確にしてほしい。
32	区がどういう姿になっていきたいかを考えてほしい。
33	使っている人の意見が反映されるので良いと思う。
②③④どんな人と・どんな手段で・どんな方法で	
1	ホームページで意見を集める。
2	世代・年代に合ったアンケートで意見を集める。
3	施設の特徴に合わせて意見を聴く人（単位）を変える。
4	現役世代の意見を様々な手法で聴く。
5	地域には前向きな人がたくさんいる。そういう方に聞くとよいのでは。
6	話し合いが大事。
7	区だけでやるのではなく、協力してもらおうということも必要では。
8	学区単位にこだわるべきではない。子ども世代中心。

9	7地域でも大きいかもしれない。
10	学区単位だとなくなるときにトラブルになる。
11	時間帯毎に使う世代が異なってもいい（一日有効活用）。
12	使っていない人の意見も（より良いものを）。
13	どんな施設があったら使いたいかと聞かれても困る。逆にこんな施設だったら使いたいかと聞いて欲しい。
14	利用差の声をまず聞くべき。
15	実際に使う人の意見を聞く。
16	今まで使っていた人たちの声が足りない。
17	改修後のイメージもしっかりと伝えてほしい。
18	共感できるものがあれば行きたいと思う。
19	機能だけを受け継いでも行きたいと思わない。
20	高齢者の施設の周りに子どもの施設を作るというビジョン。
21	利用していない人の意見も聞けると。
22	子どもの声も聞こえる施設が良い。
23	多世代の方がいいのではないか。
24	利用している人たちへの働きかけも必要（使い方を改める等）。
25	駅単位で、生活圏で考えたい。
26	利用者と職員の年齢が離れており、現状をわかってもらえない。職員に現場を見てほしい。現場には歩きで、車ではわからない。
27	年代別にしばって意見聴取を。
28	若い人の意見はくみ取りやすい。高齢者の意見を取り入れることも大事に。
29	利用している施設で意見を言える場の周知を。
30	まずは施設を利用している人たちで話しあう。
⑤意見がまとまらない場合の対応	
1	区である程度方向性を決めてから意見交換。
2	みんなで決めたという雰囲気を作ることが大事。
3	なかなか難しい問題。
4	最後は行政が決めるべき。
5	区の家を出す前に意見交換して欲しい。賛成・反対は区の意見に対してのもの。
6	「合意形成のためには」を考える。
7	全員納得はムリ。
8	達成できるビジョンがあれば納得できるかも。
9	区の困りごとが切実ではないからこういう話になるのでは？
10	顔と顔をつきあわせて話し合う場を。
11	時間をしっかりかける。
12	話し合いを重ねると絆ができる。
⑥地域間での施設の有無（偏り）について	
1	地域によって特色を出すことが必要。
2	地域の特性に合った施設。
3	7地域が競い合うような施設。地域の特性。
4	こだわらなくてもよいのでは。
5	地域や区で区切りすぎない方がよい。
6	一定のエリア（距離）で考えればよい（地域、地区ではなく）。
7	偏りではなく地域特性として考えればいい。

8	均等でなくてもいい。地域のニーズに合わせて（高円寺は阿波踊り）。西荻に必要な？
9	特性を元に作られたという情報をもっと提供すると良い。
10	児童館の有無の地域検証を（なくしたことで逆に良くなっているかもしれない）。
11	区の見通しは難しいのでは？
12	公共施設の機能を変えることも視野にできるのでは？
13	どんな年代がいるかによって少し変わっていてもいいのでは？
14	地域性があっても良いのでは？
15	意外と子どもも多くなっている。
16	「誰でも使える」は中途半端になりがち。
その他	
1	区の課題解決に住民の力を。
2	施設の目的（何をするとところか）が大切。
3	施設利用者から使用料を取り、改築費用に充てる。
4	町会に若い人の参加を促すよう区の支援を。
5	トイレの問題は大事。
6	民間をうまく活用しては。
7	区だけで財源を確保するのではなく、寄付を募るなどもあるのでは。民間と一緒に。
8	空き家が多い。うまく活用できないか。補助金を出す、共同で行うなど。土地はあるはず。
9	民主主義は時間がかかる。
10	行政はよくやってくれている。
11	引きこもっている人を引っっぱり出す仕組みを作る。
12	人を動かすための仕組み。
13	施設が遠くなると利用できない。家に引きこもる。
14	再編した施設の跡地の有効活用。
15	（施設を作る時）役所の横のつながりがない。Ex.防災、緑化
16	高齢化社会、多世代型も。座・高円寺も阿波踊りだけでなく、フラダンス（若者から高齢者まで）。
17	施設にロッカーがほしい。施設に物品を寄付した結果、自分たちの物品が使えないことがある。
18	ゆうゆう館の場所によって対応が違う。親切な対応を求める。
19	臨機応変さをいい塩梅で、利用しやすい施設を。
20	園児と老人のコミュニケーション（心のふれあい）が大事。
21	高円寺は坂道が多い。老人には大変。
全体共有	
1	杉並区に住んで70年だがこのような機会は初めてだったと思う。今後ますます発展してほしい。
2	こういう会に若い世代などが入ると良いと思う。計画が決定する前にこういう会があってよかった。大人の道徳の時間だったと思う。自分の意見だけでなく、譲り合いの気持ちが必要だと思った。
3	今日のグループワークの中で、高円寺北口の再開発について、高円寺はこのままがいいと言う人、新しく便利な方がいいと言う人、様々な意見があった。 こういう機会を何度も作って、いろいろな意見を吸い上げて行ってほしい。
4	高齢化で区の財政も厳しくなる中、公共施設に民間の力・資金を入れるなど、区が違う形を検討することも必要だと思う。
5	商店街活性化のため、ビルの1階を店舗にするような条例を作りたい。今は銀行が断ってくるのか。
6	民主主義にはお金も時間もかかる。コーディネーターを用意し、意見を全て吐かせることが必要では。やる気のある地域にお金を出し、そこから進めていき、それが区内で広がっていくとよいのでは。

7	空き家はいっぱいある。区が購入する、寄付を受ける、という形ではなく、所有者と話し合いながら、一緒に活用していくことはできないか。
8	今回、参加して様々な考えがあることを知った。
9	ゆうゆう館などが古くなっていく中、知恵を出して建て替えるのは賛成。 一方、回覧を回しても見てくれない「老人不登校」の方もいて、一声かけて友達になってチームを作るようなイメージで仲間意識を持つことができるようにする必要があると思う。
10	みんなの意見を聴くことができて良かった。 杉並の住人で良かったという人生にしていけたらと思う。
11	オリンピックでもそうだが、再編整備についても経済効果については、マイナス面も必ず伝えていくべきだと思う。 堤先生の講演にあった八戸のブックセンターの話聞いて、区の職員は、最初から頭を柔らかくして進めてほしいと思った。
12	ネーミングライツを区でもやるといい。三鷹では取り組んでいて、収入にもなっている。また、商店街の活性化のために一階部分はお店にするなどの条件があってもいい。
13	区がどんなことを考えて、計画しているのかよくわかった。情報をどんどん流してほしい。その方が、区民も意見を言える。参加してよかった。
14	まちづくりは住民が考えて、行政はそれを受けて行動する。そのための話し合いのネットワークが必要。そのためのコーディネーターがいる。ネットワークを作って、形を作って、事業ができる。そのためには予算措置も必要。
15	今日の意見交換会の参加者では、自分が一番若いと思う。先日、公園の改修のワークショップに参加した。その際、自身は真ん中の世代だった。そこは募集方法にQRコードを活用していたからかなと思う。参加募集、意見集約方法の再考を。
16	一番区に期待しているのは、基本方針を50年、100年スパンで考えていくこと。長い目をもって区政を運営してほしい。
17	区が計画を決めて実行するのではなく、「どうですか」と聞いてくれることは今後も続けてほしい。 8月1日にセンオンが開所する。どうなるか楽しみにしたい。
18	サッカー等を行える運動場が少ない。高円寺近辺に整備してほしい。 馬橋公園辺りに広場があるが、その土地を活用してほしい。
19	区が決定して、区民が従う形から変化していくことは良いと思う。区が区民と話し合って決定していく姿勢は歓迎したい。 職員の方には、現場を見た上で現状をよく理解してもらいたい。
20	ゆうゆう館を残してほしい。このまま現状通りがよい。
未来へつなぐ公共施設のカタチ	
1	いつでも気軽に立ち寄れる施設があるとうれしい。
2	どんな人でも利用できる施設。人を思いやる大切さ。施設は人が作る。
3	住民が創るまち→新しい形の公共施設。
4	参加しない人への情報の伝え方。
5	一過性の会合でなく、この様なチャンスが続けて下さい。
6	親子で参加できる場所を作ってほしい。
7	区民（利用者）が「運営」の担い手となる施設作りを。
8	次世代も行きたくなる施設。
9	ゆうゆう館において、是非ロッカーを作って欲しい。

意見シートへの意見

1	<p>区として取り組むことは多岐に亘り大変だと思いますが、特に下記をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の見直し、建設も、もちろんやらなければならないが、第一に住民が困っている現在の課題→今で言うと学童問題です。夕方まで学校に居ても良い小学校もあるようですが、全部の小学校でできるようにしていただきたい。・ゆうゆう館の統合は良いと思いますが、老人にとっては、その存在は大きく、家に近いところにあるので行けるという人も多いと思います。その辺は良く検討してほしいです。
2	<p>住民（区民）利用者のニーズをよくとらえ、行政サービスの「消費（者）」だけでなく、「担い手」となるといいなと思います。「公共」（コモンズ）の再生を。</p>

区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会（荻窪）

開催日時：令和5年7月15日 午後2時～午後4時30分

場所：荻窪地域区民センター 第1・2集会室

参加者（区民）：19名

	意見
区・学識経験者の説明を受けての疑問・感想（「もやもや解消タイム」：グループでの質疑・感想等）	
1	計画の改定のプロセスが反映されていない。 阿佐谷地域区民センターの場合、地域の要望を聞いていたのかが疑問。
2	施設再編計画自体が、予算ありきでの計画ではないか。 区議会議員が住民代表であるべきと考えるが、現状いささか疑問がある。
3	ゆうゆう館で何が起きているのか不安であり、それを解消したい。
4	アンケートの結果をあたかも区民の意見として話を進めるには異議がある。
5	中・高校生の居場所が少なく、ゆう杉並は他の地域の方には遠い。
6	学校内は集会施設としての利用が少ない（桃二のフリースペースなど）。そういったものを活用すると良い。 児童館は残してほしい。乳幼児からずっと行ける施設としてのメリットがあるし、児童厚生専門の職員がずっと子どもを見てくれている。トラブルなどがあった場合に相談ができる。 コミュニティふらっとは利用料がかかるし、ビジョンが伝わってこない。まちづくりと施設は一体だと思う。
7	なぜ、区は固めてから計画を出してきたのか。プロセスの見直し、考え方を変えるというが、本当に変える気があるのか。
8	行政の悪いところは方針を決めたら、そこから脱却できないことである。計画に柔軟な対応ができるような条項を設けるべき。 今回の計画で決めたことについても、改めて定期的に検証・見直しが必要だと思う。
9	進めるに当たっては、子どもの親や中高生など、当事者の意見を拾ってほしい。
10	財政的な理由はわからなくはないが、それが前面に立ってしまうとウキウキしない。 道路よりも施設が大切。そちらの予算を施設に持ってきたらよいのではないかと。
11	全国的な事例を挙げて説明してもらったが、杉並区に当てはまるのか。杉並は土地が少ない印象がある。 やることだけを示されても、情報がないと意見が言えない。例えば、ゆうゆう館の分布状況や地域の高齢者の数を地図に落とし込むなど、情報を「見える化」してほしい。 施設の複合化という面で言うと、中央区にあるビル（都が管理？）では、1つのビルの中で色々な施設が上手くまとめられていたように思った。こうした都内の好事例も紹介することはできないのか。
12	区に対してのモヤモヤがある。現状、自分の子供が保育園に入れていないのに、保育室は今年度末で閉まってしまう。順序が逆ではないか。何を見てプランを作成しているのか。
13	区長が変わったから計画を変えるという認識で良いのか。 これまでの施設再編整備は、ハコモノありきで作っている印象が強い。誰のための施設なのか、理念はどこにあるのか。何を大事にしているのかが伝わってこない。 自分たちの税金で作られた施設なのに、使用料が高い。世田谷区や赤羽には施設がたくさんある。港区の施設も料金が安い。

14	児童館の検討は別途行うとの説明だったが、令和6年度中との理解で良いか。 杉九小のゆうゆうハウスがなくなり、学童クラブが学校内に移転したのも経験したが、今回のアンケートは利用者の意見を反映していないように思える。質問内容が誘導的だと感じる。
15	アンケートの質問は誘導しているように思える。アンケートはあくまでの一つの意見でしかない。
16	アンケートは一つの結果として、結果を見た人がそれぞれで判断すればよいと思う。私は、全体の意見としては、こんなものかなと感じた。特に誘導しているようには感じなかった。
17	アンケート以外のやり方はないのかと考える。もっと区議が中心になって意見をまとめて欲しい。自分の街から自然が無くなるのは淋しく感じている。
18	シンポジウムの「観覧者」募集に違和感がある。当日、意見が言える場を用意して欲しい。 ゆうゆう館の利用者でコミュニティふらっとに肯定的な人たちは、コミュニティふらっとのイメージが具体的に湧いていないからだと思う。
19	区が決めたことのプロセスの開示が大事。
個人ワーク・グループワーク「これからの施設整備の進め方について考える」	
①区を進める考え方について	
1	区立施設や公園はなるべくたくさんあった方がいいですが、予算の問題もあります。ただし、杉並は他区に比べて区立施設も公園も多い方ではないので、今度の一連の再編で、今以上に狭く、少なく、使いにくくなることはあってはならないと思います。
2	意見が言える場があって、区側が耳を傾けてくれたと感じられれば、たとえ実現できなくても、ある程度納得できると思います。
3	貴重な一歩だと思います。着実に進めてほしい。
4	財源確保？令和4年度のふるさと納税で40億9千万減収。令和3年度は30億2千万。なんとかならない？
5	建物の建替の計画は早めに地域に公開して、時間を掛けて、じっくり検討するようにして欲しい。 Ex.あんさんぶるは7年位掛けた。
6	計画策定から区民の意見を取り入れることはよいと考える。
7	コミュニティフラットを作る時に、ゆうゆう館を利用してる者たちの意見も聞いて欲しかったです。
8	従来の計画、やり方にかかわらず、企画段階から住民の意見を聞く。
9	最初の時点で意見を聞く。計画で変更できない部分を代替等で考えるように。
10	基本的調査は必要。意見を聞きながら計画を進める。
11	どのようなものがほしいか、計画段階の時点で聞いてほしい。
12	たたき台→案→決定に至るプロセスにおいて、既定路線が敷かれていないよう柔軟に対応して欲しい。
13	背景なども含め、丁寧に説明・情報公開されていれば納得できるところもある。
14	児童館など施設が無くなることになってから言われても仕方がない。
15	老朽化を改善しても、またすぐ統廃合で工事する施設も。東原児童館→コミュニティふらっととか。
16	施設再編に限らず行政の計画は決まってから示すのではなく、情報開示が大前提なので、双方で作りあげていく必要がある。
17	結論からの逆算の説明ではわからない。
18	区は情報開示を事前にしていくことが大事。
19	長期的ビジョンを示す。
20	理念をはっきりさせる。
21	新しい進め方については十分な情報提供と理念があれば賛成。
22	そもそも公共施設のビジョンがわからない。
23	基本構想にもどって、考えていってほしい。まず施設再編ありきか。
24	コミュニティふらっと本天沼として3施設統合は残念。今後の進め方をしっかりと考えて欲しい。

25	3年毎の計画でなく、長いスタンスで考えていける形がほしい。
26	少数の意見を拾い上げていく方法も考える必要がある。
②③④どんな人と・どんな手段で・どんな方法で	
1	杉並区や当該地の人口比率に応じた性別、年齢バランスで検討して欲しい。
2	職員と住民のコミュニケーションが取れる場づくり（良かれと思っているはず、）。
3	できれば学区単位で意見を聞けるといいと思います。
4	区民と区の職員の方と一緒に考えるとありがたいです。
5	7地域が最大。小学校区が最小。
6	利用者には区から来ていただく。利用していない方にはアンケートなどで。
7	施設によると思うので、それぞれに応じて。※見直しをすすめること自体をしっかりアナウンスする。
8	現在利用している子どもから高齢者まで、みんなの気持ち考えを聞いてからにしてほしいです。
9	動画配信のうえでアンケート。
10	その施設の利用者、その施設の周辺に住む人の意見をまず聞いてほしいです。
11	犠牲になる人たちがいないようにだけお願いします。とくに子どもたちの声を大切にしてほしい。
12	街、町単位。その施設が担う役割に応じて変わるのでは。
13	インターネットでのアンケートを活用すれば、若手からの意見が多く集まると考える。
14	テーマに関連がある年代は含めるべきだと考える。
15	地域のテーマによって、考えを変えていく必要がある。
16	施設の利用経験者の意見を聞く。次のステップのコミュニティの担い手へ。
17	歩いて十分程度ごとくらのエリア。
18	対象者の声（要望、意見）を聞いてほしい。例：児童館だったら親、小・中・高生。
19	区民から意見を聞く際は、年齢層を幅広くとってもらいたい。※学生達の意見も聞きたい。
20	区の動きの周知が足りない。
21	区の職員が区民に聴く体制を作るために中でも雑談する。
22	どういう年代の人がいるのか、どういう施設があるのか、見える化する地図がある。
23	他県ではなく、23区、東京都内のせまい地域の良い例を見せてほしい。
24	利用者の年齢層、利用状況のデータ等ファクトベースで必要、不要を考えられる土壌が欲しい。
25	子どもの現状分析をしっかりと。学童つぶした。
26	ここに出て来る人達の半分は女性に。
27	本日のような対話会はリアルな声が聞けて良い。
28	他の課との連携（保育、緑化）。
29	小中学校の校舎を建て替えるのであれば、図書館、美術館等と併設する。杉並区は美術館がない。
30	利用していない人の声をどう聞きとるか。
31	専門家がない。
32	現在ある施設の半径〇〇m以内など。
33	意見収集方法はヨーロッパ（北欧、ドイツ）の市町村の取組みを参考にしては？
34	地域住民の意見、子どもや高齢者、働く人の意見を聞く場を持って。アンケートだけでなく。
35	当事者も入れて問題を中心において検討を。
36	区政への関与はなかなか遠く感じる人が多いので、対話型の説明会を行う。
37	地域班で話をする機会を。
38	小さい頃から意見を出す事を経験していける環境作り。
39	働いている人も含めて、区政の情報を伝える努力が区には必要。
40	区議、市議が区民に入って行って意見を聞いていく方法もある。

⑤意見がまとまらない場合の対応	
1	住民から選ばれた区長なので、区長の判断で。
2	区長が丁寧に対話する重視する方だからこそ成り立つと思う。
3	毎回のファシリテート大切です。
4	職員の方に十分話を聞いてもらったと思えば、消極的賛成になるのでは？
5	あきらめないでひざをまじえて話を対話をしてほしいです。少しずつゆずり合っていくと良い方向へ。
6	意見がまとまるまで議論をつくる。このための期間を十分に。
7	とことん話し合って妥協点をさぐる。これぞ民主主義。
8	十分な時間をとって意見を深く理解していくべき。
9	事前に状況を丁寧に説明して取組を決めていけば納得感がある。
10	期限があるものは多数決で決めてはどうか。期限がないものは再協議で議論を深めてはどうか。
11	多数決の場合は利用者、対象者の票数を考慮してほしい。
12	緊急度のトリアージ制。建物の安心・安全。
13	どの施設が優先的に対応が必要か。老朽化、安全性の観点。
14	意見をいえる場が作られた。始めてだ。まとまらなければどうするか等はきめられないと政治になるよとおどかされているか。
15	まず、話し合いのリーダーを投票で決める。
16	ルールは変えられるということを知っておく。
17	ルールを話し合って決める。
⑥地域間での施設の有無（偏り）について	
1	旧若杉小の跡地利用については、広く区民の意見を聞いて、有効に活用してほしい。
2	地域の意向を尊重したうえで差異があってもいいと思う。
3	高齢者が少ないからと今は思っても、30年後、50年後はどうなるかわからないので、できれば7地域同じに、
4	地域毎に差異がある方が特色があってよい。
5	差があるのは特性があるのでよいと思うが、必要なものがないのはよくない。
6	7地域の地域範囲が広すぎる。
7	地域懇談会が地域によってはやっていない。貸し部屋だけになってしまう。
8	施設によりけりで、年代に分けることは難しい。
9	まんべんなくが理想だけど、アクセスが良ければOK（バス、グリーンスローモビリティ）。
10	ニーズの違いがあるはず。
11	地域の特色、ニーズが違う。
12	違いを楽しむ。
13	文化を大事にする。
14	できれば公平性を求めたいが、住んでいる人の年齢層やニーズを考えて、限られる財源をもとに地域の特性を考えてもいいのかも。住んでいる人に意見を求める？
15	施設がどこの地域でも平等にあるのもいいが、その地域の特性（単身世帯が多いとか）を生かした施設でも。
16	マジョリティーがしっかりマイノリティーの声を取り入れる。
17	地域の要望を聞いてきめていってほしい。
18	地域性があって良いと思う。
その他	
1	学校を地域に開放する。学校三部制に（集会所、小学校、中高生の居場所）。
2	現行の3年ごとの計画策定ではなく、せめて5年あるいはそれ以上の時間を掛けて欲しい。

3	ゆうゆう館のように高齢者利用専用場も欲しいです。
4	やってみなければ解らない。若い層を取り込むためのシステム。IT利用など。
5	このような機会を持続して行って欲しいです。今日はありがとうございました。
6	財政的な理由が前面になってしまうとウキウキしない。必要な予算を持ってこることも可能では？
7	区の縦割をなくして、総合的に考えられるようにした方がよい。
8	コミュニティふらっとの世代間交流は難しい。それぞれが児童館、ゆうゆう館を使う理由があるので、
9	開かれた杉並区役所を目指して欲しい。区長直轄部門で、第三者機関でディスカッションする。
10	できるかぎり地域の企業を使う。例：植物のカーテンのメンテナンスに他県からくるのはなぜ？
11	地域の活用をする。
12	子どもの身長・体重を測る場所がない。
13	まず、区の説明から始めるのはどうか。
14	ゆうゆう館独自に作って。児童館。
15	小学生（学童でない子）の放課後の居場所はどうか？
16	学童職員のスキルアップ、支援体制+他、多職種連携を（心理的安全性）
17	小学校内に学童クラブが入ることのメリットとデメリット。大多数の意見にあわせるべきなのか？（就労している親としてはありがたいと思うが、）
18	もやもやなし。変えればよいと思うので。
全体共有	
1	施設再編計画の見直しに期待している。施設を充実させて、良いものにして欲しい。
2	自身が児童館や学童クラブなど、子育て時代のつながりに助けられた。 今日のような進め方で、子どもたちも参加できるような仕組みづくりを考えていただきたい。
3	子供たちの声を聞いて欲しい。 誰かが犠牲になるような仕組みはやめていただきたい。
4	住民対話の在り方も、あらゆる年齢層の声を聴けるようなものにしていただきたい。
5	アンケートについて、よく分からないため、分析資料を作った。アンケートだけでは答えが出ない。 無作為抽出の方が賛成が多い。 再編のあった地域の方の意見を参考にしてほしい。
6	以前に、与謝野公園が出来る際、前の公園には球技を行うことができる防球ネットのスペースがあったが、無くなってしまった。その際には基本的に意見も聞いてもらえず、代替もなかった。今後は、計画の前から意見を聞いてもらえるとありがたい。
7	こういった機会は初めてのことで、区長には感謝する。
8	以前は「あんさんぶる荻窪」を残す運動をしていた。あんさんぶるの時は説明会をやってくれなかった。それを考えると、今日のような機会に参加できたのは夢のよう。今後も区民の要望等も重視しつつ、区民の意見を取り入れていく方向でお願いしたい。
9	区は変わりつつあることを感じた。杉並をますます良くしていくように自分もやっていきたい。 都や国の情報公開が少ない中、区では情報公開をしっかり進めて、都や国に示していけるようにしてほしい。
10	児童館や子ども・子育てプラザなどを利用している。 再編を進める中で大切にしてほしいのは、実際の利用者の声。 意見交換の場は良いと思うが、参加するにはハードルが高い。親子交流イベントなどにして語る場があればよいと思う。託児サービスがあって、親だけで杉並で子どもを育てる場について語り合う等できれば素晴らしい。

11	<p>区民の特性として、言いたいことを言って自分たちがやりたいことを主張するが、時間がかかる。こういう場に出てきてそれぞれが責任を持つような区民が増えると良い。</p> <p>これまでの再編整備の取組は、玉突きで地域や世代を分断していたと思う。最後は区長が決めるという意見もあったが、分断していたら話はまとまらない。</p> <p>児童館、ゆうゆう館の削減は、福祉の削減だと思う。子どものため、高齢者のため、どちらが上とかではなく、どちらも大事。</p> <p>予算が前面に出るとウキウキしない。ウキウキから始めたい。</p>
12	<p>アンケートは心情として信用しない。生の声が一番なので、グループディスカッションで話をするのができて良かった。帰ったら家族共有したい。</p> <p>広報紙などで施設の廃止、取り壊しのことを見かけるが、結論しか書いていない。そのプロセスがわからないので、情報開示をしっかりといただき、その中で我々の意見も有用に活用してほしい。</p>
13	<p>アンケートだけでは、区民の意見は反映されないと考えている。こうした対話の機会を設けていただき感謝している。</p>
14	<p>子供が生まれて児童館を使い始めたのをきっかけに、地域に関する関心が生まれ、今日の会に参加するに至った。色んな年代や構成の方とお話をする中で、改めて自分の血税がどのように使われているのか、もっと目を向けなくてはならないと思った。</p> <p>このような対話の機会をもっと増やしてほしい。</p> <p>区職員へのお願いだが、今日は保育課の職員がいない中で、保育園の話もさせてもらった。</p> <p>区民の声やニーズについては、「他課の管轄だから」と縦割りにはならず、横の連携を持って幅広く受け止めてほしい。</p>
15	<p>こうした対話の機会を設けていただいたのはありがたいと思うと同時に、このやり方で決めていくには非常に時間が掛かると実感した。</p> <p>みんなでどっちに進むのかを決める上では何が大事か。私個人のテーマとしては「命」「平和」「文化」を大事にしたいと思っている。</p> <p>これまでの再編整備はハコモノありきだった。施設を作るのにも使うのにも税金を取られて、二重取りされているようにも思う。</p> <p>自分の班では、参加者3人で楽しく話せた。意見をやり取りするのは気持ちが良い。</p> <p>最後に1点、参加している区の職員の女性比率を半分以上にしてほしい。コミュニティふらっとの説明会でも同じことを言い続けてきた。</p>
16	<p>区の財政が厳しいというけれども、社会保障は民主的でないといけない。働き方改革など実現しながら、児童館、ゆうゆう館を使いやすい施設に変えていって残して欲しい。</p>
17	<p>これまで、保育園、学童クラブ、児童館、集会所など様々な区立施設を利用してきた。学童クラブの開設を求めて運動した時に、区はなかなか話を聞いてくれなかった。ゆうゆう館の再編をきっかけに話をたくさん聞いてもらえることになったのは良かった。</p>
18	<p>今回、様々な人が集まったの対話形式が良かった。今後の区政に期待できる。今後、人々にこの問題に関心を持ってもらう努力が必要だと思った。まずは、自分の地域で話し合うところから始めたい。</p>
19	<p>公共施設の新しいカタチを考えることを通して、杉並の新しいカタチを考えたいと思った。子供に何か意見はあるかと聞いたところ、学童クラブの人はいつも忙しくて相手をしてくれないと言っていた。公共施設は多面的に見たい。地域も人も持続可能であって欲しい。いろんな意見が言える杉並であって欲しい。住んでいて良かったと思いたい。</p>
<p>未来へつなぐ公共施設のカタチ</p>	
1	<p>科学館をつくる。例えば、旧若杉小跡地に。学校給食の自校方式。施設利用料を無料に（当面、半額に）。</p>
2	<p>若杉小の跡地は天沼小の分校にして欲しい。</p>

3	住んでいてよかったとみんなが思えるように、区民の声を聴き続けていってほしいです。今日のような場を1回限りでなく、
4	横浜市のように、ふるさと納税を直接学校や区立施設に寄付できる仕組みにできたら減収を防ぐことができそう。
5	その施設を利用する方を想像して下さい。その方々、利用者ファーストで。
6	このような会を、年に何回か行って欲しい。「とことん話し合っ決めて。」という事を大事にして欲しい。
7	玉つきスケジュールに追われず時間をかけて。阿佐谷、高円寺の再編にも。
8	利便性が高く、幅広い年齢層が利用できる施設が理想です。公共施設も社会資本の一つなので、耐用年数にも配慮した長く利用できる施設が理想です。
9	子供たち、高齢者、関係者の人たちの意見を聴いて進めて欲しい。
10	理想は阿佐谷地域区民センターです。多世代施設に期待しています。
11	子どもの意見を聞くことに賛成。昔は子ども議会とか学校や学童でも戦争について、イジメについてなど色々話した気がします。子どもは投票もできないので、ぜひそういう場所を作りたい。
12	住民が主体となった行きたい居場所となるようなもの。
13	赤ちゃんも大人もみんなが「やりたい」を叶えられる場所に。
14	杉並区で使用する業者はできるかぎり杉並区内の業者を使用する。例：植物のカーテンのメンテナンスに他県からくるのはなぜ？
15	杉並区には美術館が無い。小・中学校の校舎と併合して建て替えというのはどうでしょうか。（出入口を別々にして）
16	多世代、多様な方々も含め、公共施設として役割をもっともっと行政側からも訴え、地域としてのカタチを大事にしていきたい。
17	環境も人も持続可能にビジョンを掲げましょう。
18	対話を重ねていくのを大切に。天沼小の経験をしっかり検証してほしい。たたき台から話していくという事を大切にするのなら、以前の事をひとつひとつ検証して出発してほしい。区の説明は変わらないようでした。
19	区民が沢山参加して、色々な意見をもとに公共施設を再編できたら。子ども、お年寄、働き世代、皆が納得、ハッピーになれるカタチを望みます。
意見シートへの意見	
1	区民の声をリアルで聞く場を設けて下さってありがとうございました。区立施設の問題（区民からのニーズや利用者の思い）は、色々な背景が絡んでいると思うので、ぜひ役所内で連携をとって、引き続き区民との対話を重ねていただけたらうれしいです。
2	とっても大切な機会をつくっていただきましてありがとうございました。子どもたちの声を大切にしていこうと、杉並区ならできると思いました。
3	託児サービスのおかげで今回参加することができました。ありがとうございました。こういった、子育て世帯を無視しない進め方を今後も行っていただけると大変うれしいです。あまり有益な意見が出せませんでした。他の方の声や考え方はとても参考になりましたし、杉並の施設だけでなく、街づくり全般において興味を持つことができました。 あらためてありがとうございました。区長と直接お話しできたのも良い機会になりました。
4	ノウハウだけにフォーカスすると結果と評価を出すことに気をとられるかと思います。是非、民主的プロセスを重ねて、もやもやのレベルがあがって行くような対話の場と相互作用を大事に出来る大人が居る杉並に、と考えています。
5	素晴らしい意見交換会でした。継続的に開催されていければ良いと思いました。